

# 地方史情報 168

2024年7月

## 地方史研究雑誌目次速報 飯澤文夫 編

\*本誌に掲載した雑誌に関するお問い合わせは、発行元に直接お願いします。

北海道	1	東京都	22	大阪府	56
青森県	4	神奈川県	33	兵庫県	60
岩手県	5	新潟県	39	和歌山県	63
宮城県	5	富山県	41	島根県	64
秋田県	6	石川県	42	岡山県	64
山形県	6	山梨県	43	広島県	66
福島県	6	長野県	43	徳島県	68
茨城県	9	静岡県	48	愛媛県	69
栃木県	10	愛知県	50	佐賀県	71
群馬県	11	三重県	52	宮崎県	72
埼玉県	12	滋賀県	53	沖縄県	73
千葉県	18	京都府	55	寄贈図書	74

### 北海道

#### ◆標茶町博物館紀要

〒088-2261川上郡標茶町字塘路原野北8線58-9 TEL015-487-2332 2020年創刊  
<https://www.sip.or.jp/~shibecha-museum/>

◇5 (累計34) 2024.3 A4 65p

表紙 改修工事を終え開館した旧塘路駅通所(令和5年9月)

標茶町二ツ山の昆虫相への森林管理変遷の影響(2)

一地表徘徊性甲虫類

土屋慶丞／佐藤諒一／高橋優花

そ河回遊型サケ属における成長期海域の北上と縮小およびそれがもたらす釧路・根室地方(根釧原野)、知床、網走地方に生息するヒグマと魚食性大型鳥類(シマフクロウ、オジロワシ、オオワシ)に及ぼす影響—100年後を見据えて!

小荷田行男

種子散布と貯食

—(1) 鳥や動物の貯食・(2) 動物が運ぶ種子・(3) 鳥が運ぶ種子 二村 一男  
アイヌ文化に関わる学習支援事業(令和4年度アイヌ政策交付金事業)

アイヌ語地名講演会講演記録

アイヌ語地名—西別川周辺を中心に

奥田 幸子

アイヌ語地名—塘路湖周辺を中心に

奥田 幸子

標茶町博物館 令和4年度年報

◆屯田 北海道屯田倶楽部

〒063-0037札幌市西区西野七条9-7-5 TEL011-676-6145

年3000円 1985年創刊 <https://tonden.org>

◇75 2024.5 B5 80p 1000円

表紙絵図 屯田兵召募に付き三県へ達の義伺

(明治7年12月9日、国立公文書所蔵)

巻頭言 絶えざる屯田兵の血脈

梶田 博昭

子思孫尊 「最初の屯田兵」の実像を伝える

琴似屯田2世・山田勝伴さん

編集部

屯田兵制度創設150周年の記念事業

『開拓使最初の屯田兵 琴似兵村』復刻版刊行へ

翻刻版「三澤日記6分冊」(3) 屯田兵召募の旅を詳細に記録

三澤 毅

志願者求めて64日間の旅 浮かび上がる徴募活動の実像 本会会員

梶田 博昭

屯田事務局長三代—大山重・堀基・永山武四郎—その人物像を探る

北国 諒星

黒田清隆 人物再考(1)

阿部 豊

古地図の散歩道

屯田兵第一大隊行軍演習行程図(三澤日記第6分冊より)

屯田兵第一大隊行軍演習行程図 原野を舞台に東西二軍が激突

宮内 隆一

屯田兵のデザイン考

似て非なる五稜星 屯田兵大隊旗(明治8年開拓使稟哉録より)

屯田兵の土地所有権—税制優遇と没収手続きについて

有馬 尚経

一節抜粋 北国諒星著『敗者の明治維新と北海道移民、屯田兵』(O)、

「石狩川ものがたり」研究会編『石狩川ものがたり』(K)

開拓史の中の熊と屯田兵

江口 憲人

『三澤日記』6分冊の解説を終えて

熊田 文男

屯田兵ルーツ情報 日清戦争「帝都滞在中」の肖像写真/消息情報

工藤彦三郎氏(明治8年5月琴似入地、山形県出身)

じじ殿 出番でござる

(K)

◆文化情報 北海道文化財保護協会

〒060-0002札幌市中央区北二条西7丁目 かでの2・7ビル9階

TEL011-271-4220 <https://hokkaido-bunkazai.jp>

◇398 2024.4 A4 8p

- 地域に息づく 福島町 白符病送り 鈴席 志穂
- 令和6年度協会活動 多彩に文化財の魅力発信
- 第58回全道高等学校郷土研究発表大会 最優秀賞
- 旭川龍谷高等学校／北海道釧路江南高等学校 本間 愛之
- 東大寺二月堂の修二会 西山 厚
- シリーズ 伝える北海道遺産 百年の桜並木を後世へ
- 静内二十間道路桜並木の保全 中村 英貴
- まちのイチオシ 開拓一三〇年 きのこの里 愛別町
- 「北海道石」の発見 井上 雄太
- 第3回文化財講演会 「遺跡と指定文化財が語る北海道の歴史一国宝  
・白滝からビールまで」 長沼 孝
- MUSEUM ひろば 音威子府村の文化芸術の発信地
- エコミュージアムおさしまセンター 忍穂 駿平
- 国指定文化財の答申 重要文化財「北海道西島松5遺跡出土品」、登録有形文化財(建造物)「清隆寺本堂」、登録有形民俗文化財「鷹栖の装蹄用具及び関連資料」

◆北海道の文化 北海道文化財保護協会

〒060-0002札幌市中央区北二条西7丁目 かでの2・7ビル9階 TEL011-271-4220

1961年創刊 <https://hokkaido-bunkazai.jp>

◇96 2024.3 A5 66p

- 表紙写真解説 国指定史跡旧島松駅通所ライトアップ(令和5年10月15日)
- 巻頭言 表札を読み解く 明治初期、一農業渡世者の気概 遠藤 龍畝
- 教科書展余談～蝦夷地代官 南摩綱紀 山田 雅也
- 「北海道みんなの日」七月十七日にひとこと 土井 重男
- 「寛保大津波」に関わる記録についての考察 高木崇世芝
- 鷲別岬のアイヌ地名「ウカオブ」について 井口 利夫
- 身近な山地形の改変とその頻度
- タブコブ地名に対する空中写真による解析から 中野 良宣
- 白老のコタンを訪ねて(14)―太平洋岸に生きた人びと 山本 融定
- 母から受け継がれたアイヌの刺青 西脇対名夫
- 明治初期の中山久蔵家表札 遠藤 龍畝

令和5年度(一財)北海道文化財保護協会事業報告  
令和5年度「文化情報」発行一覧  
北海道文化財保護功労者受賞者一覧(平成元年度～令和5年度)

## 青 森 県

### ◆郷土史三沢 三沢郷土史研究会

〒033-0022三沢市字園沢219-211 小比類巻満方 TEL0176-54-2583

2005年創刊

◇20 2024.3 B5 140p 1000円

表紙・口絵 こう薬売り(岡三沢神楽)

解説・山本 優

巻頭言

小比類巻満

北浜の漁業Ⅱ一市川鮭から鰯漁へ

伊藤 一允

三本木開拓における稻生川上水工事の技術者集団

故 八重堅盟／紹介 遠藤隆司・小比類巻満

『上北新誌』にみる大正十四年の三本木町の概要

資料提供・故 河村員伸

大三沢町ものがたり(抄)(1)

故 米田清蔵

満蒙開拓青少年義勇軍『青森志賀中隊誌』〈四六〇三部隊一尾山訓練所

と私)より 尾山訓練所の形見に思う

故 野々宮市太郎／紹介 種市嗣彦

漁師の手記一大震災を振り返る〔東日本大震災三沢市の記録〕

編著者 澤口正義／手記 尾崎勝一

創立二十周年を迎えて

事務局二十年―「三沢郷土史二十年を振り返る」

小比類巻満

『郷土史三沢』編著者作品名一覧

小比類巻満

古間木今昔物語(記録〔古間木を語る会〕座談会)

語る人：石橋達夫 司会：沼田石 記録：種市嗣彦・小比類巻満

三沢郷土史研究会

終戦前後の我が村の記録(4)

馬場 操

共同研究 追補〔三沢の方言〕(4)

馬場操・三沢郷土史研究会

会報にみる一年間の活動概要(令和五年度)

### ◆弘前大学国史研究 弘前大学国史研究会

〒036-8560弘前市文京町1 弘前大学教育学部日本史研究室内 1956年創刊

◇156 2024.5 B5 76p

一八世紀前半の俗信と不作の忌避

一神譚としての「天気不正」と差し留められる湯治

浪川 健治

平田門徒にして幕末の志士—新出の師岡正胤書簡を手掛かりに 弘前城の時計・時太鼓と城下の時鐘について 「糠塚きゅうり」史考—在来作物の感覚史に向けた予備的考察 資料紹介 弘前市沢田の山神像 書 評	中川 和明 篠村 正雄 辻本 侑生 関根 達人
関根達人著『つながるアイヌ考古学』	蓑島 栄紀
根本みなみ著『〈家からみる江戸大名〉毛利家—萩藩』	林 亮太
浪川健治監修、根本みなみ総括編著、山下須美礼・吉村雅美編著 『〈弘前藩主 津軽信明日記集成』	清水翔太郎

## 岩 手 県

### ◆アテルイ通信 アテルイを顕彰する会

〒023-0807奥州市水沢新小路21-1 ヒグチビル 1 F 安彦事務所内  
年2000円 1991年創刊 <http://aterui8.jp>

◇74 2023.3 B5 36p

悪路王の首、その伝承と鹿島神—悪路王とはアテルイなのか(1)

I 鹿島神宮の悪路王像／II 鹿島神社の悪路王面形彫刻／III 悪路王の類似名

朝倉 授

## 宮 城 県

### ◆震災文庫だより 宮城県図書館

〒981-3205仙台市泉区紫山1-1-1 TEL022-377-8498 2020年創刊  
<https://www.library.pref.miyagi.jp>

◇7 2024.3 A4 2p

東日本大震災文庫編 チラシ等のメタデータ公開を始めました／図書館総合展に参加しました／東日本大震災文庫展を開催中

東日本大震災デジタルアーカイブ編 コンテンツの公開数が大幅に増えました／アーカイブ宮城のコンテンツが一層充実します／パネル展を開催中

### ◆東北文化研究室紀要

〒980-0862仙台市青葉区川内27-1 東北大学大学院文学研究科 1959年創刊

◇65 2024.3 B5 61p

東日本大震災からのポスト復興期に向けた地域生活支援の現状と課題

一宮城県本吉郡南三陸町の事例 永井 彰  
教育政策は高齢化によって支持されなくなっているか—いくつかの政  
策領域との比較を含む、複数事典の公教育費への意見の分析 森坂 太一  
多賀城廃寺の塑像・塑壁 鹿又喜隆／堀裕／廉禱／長岡龍作／藤澤敦／小林和貴  
東北文化研究室例会の報告 鹿又 喜隆

## 秋 田 県

◆秋田歴研協会誌 秋田県歴史研究者・研究団体協議会  
〒010-0811秋田市泉釜ノ町16-5 渡辺方 1996年創刊  
◇82 2024.6 B5 20p  
表紙 法隆寺金堂壁画 6号壁 阿弥陀浄土図 左脇侍(観音菩薩像)  
(写真提供:大仙市教育委員会)  
特集 秋田歴研協第30回大会  
記念講演 画人鈴木空如の生涯—永遠の生命の芸術を求めて 高橋 一倫  
用語解説 「土ねっこ」(泥炭) 半田 和彦  
歴史情報 自著『北方の八幡神社と神宮寺』を読む 神宮 滋  
文献情報 加入団体会誌、その他の会誌、著作等／催しもの情報

## 山 形 県

◆伝国の杜だより 米沢市上杉博物館置賜文化ホール  
〒992-0052米沢市丸の内1-2-1 米沢上杉文化振興財団 TEL0238-26-8000  
<https://www.denkoku-no-mori.yonezawa.yamagata.jp>  
◇45 2024.3 A4 8p  
特別展「上杉茂憲—最後の藩主と米沢士族—」／「KAGAYA 星空の  
世界展」  
特別展「上杉氏の鷹と馬(仮)」／常設展示室 上杉文華館 年間テ  
マ:長尾上杉氏の北陸侵攻／モールの展示作品  
博物館からのお知らせ 教育普及事業 Hands&Heart～手とこころ  
でかんじよう プレイショップ×造形、募集制ワークショップ

## 福 島 県

◆ふおーらむ・F 福島県民俗学会  
〒965-0807会津若松市城東町1-25 福島県立博物館内 2011年創刊

<https://fukushimafolklore.com>

◇18 2024.3 A4 4p

令和5年度東北地方民俗学舎合同研究会「コロナ禍と民俗」①守谷栄一氏「疫病の民俗」に取り組む、②鎌水実氏「コロナ禍における祭礼組織の対応—白河提灯祭りを中心に」、③畑井洋樹氏「コロナ禍でのミュージアム展示」、④佐藤一伯氏「コロナ禍の岩手の神社—まつりの持続可能性について—」、⑤小山隆秀氏「コロナ禍における町会ねぶたの変化について」、⑥小田島清朗氏「スペイン風邪・コレラの実態と秋田の疫病退散事民俗」

鎌水 実

地域持ち回り研究会を開催しました

いわき市三和町 OJONCO 館と上市萱集落の見学

岩崎 真幸

いわきの雛祭りの歴史

齋藤りほん

企画展のご案内 いわき市暮らしの伝承郷 企画展「人生儀礼 I」

◆福島民俗 福島県民俗学会

〒965-0807会津若松市城東町1-25 福島県立博物館内 Tel.0242-28-6000

年4000円 1973年創刊 <https://fukushimafolklore.com>

◇52 2024.3 A5 116p

コロナ禍における祭礼組織の対応—白河提灯祭りを中心に

鎌水 実

近世史料にみる「浜下り」—相馬中村藩の『相馬藩世紀』から

岩崎 真幸

福島県会津地方における鳥追いとカラス追い

後藤麻衣子

福島の猫絵と鼠除けの呪い

石黒伸一郎

厄年と厄払いをめぐる現代民俗—食器用洗剤の贈答とその背景

内山 大介

語りで振り返る恵比寿屋の歴史

—郷土玩具職人・橋本広司さんの聞き取りから調査から

増藤 雄大

福島県浜通り、会津の板碑の転用事例

柳内 壽彦

有形偽造と無形偽造—『東日流外三郡誌』と日本書紀

菅野 拓

民俗短信 伝説の伝え方について—イチョウの乳信仰を中心に

二本松文雄

書評・書誌紹介

おやけこういち『いわき発・歳月からの伝言 4(こ)』

渡邊 彩

そうま歴史資料保存ネットワーク編『そうまの歴史をまもる・つた

える 二〇二三報告書』

(I生)

会務報告 2023(令和5)年度

事務局

◆文字摺通信 ふくしまの歴史と文化財

〒960-8204福島市岡部字東町35-6 守谷早苗

◇63 2024.5 A4 4p

岡山の阿武隈川河川跡が埋め立てられています

福島第一小学校資料から “福島時習園” という学校がありました

豪州の旅その2：大冒険(3) 福島市役所は City Hall じゃない！

◇64 2024.5 A4 4p

東屋沼神社史料から 信夫川って？松川？摺上川？

旧家訪問 上名倉高橋家を訪ねてきました。

築150年、12間の通し桁！開港バブル期の養蚕農家

豪州の旅その2：大冒険(4) ケアンズで、スカイレール(ゴンドラリフト)でキュランダへ、そこで水陸両用車に乗りました。

◇65 2024.6 A4 4p

山形・米沢に3件遺っていました 中條精一郎の遺構を訪ねて

山形市 ①旧吉池医院：山形市十日町(国道112号沿い)、②文翔館(旧

山形県庁及山形県会議事堂)／米沢市 上杉記念館(旧上杉伯爵邸)

豪州の旅その2：大冒険(5)

ハンターバレーの露天掘り炭田とニューカッスルの石炭積み出し

◇66 2024.6 A4 4p

お堂を訪ねて 土船の勢至堂(ほたもち観音)

ご本尊は “勢至観世音菩薩”

吾が半生を振り返って(何でもベスト10) その1 “ミステリー小説”

天国に一番近い島に荒井からも出稼ぎに

◆安蔵つうしん 「鈴木安蔵を讃える会」ニュース

〒979-2533相馬市坪田字八幡前21 志賀勝明方 Tel.0244-26-4645 2022年創刊

◇19 2024.4 A4 2p

ご協力に感謝を申し上げます

志賀 勝明

会員さんの質問①「憲法研究会の7人は？」／会員さんの質問②「憲法研究会の憲法草案と現憲法の比較は？」

『憲法草案要綱』を作成した憲法研究会の7人 高野岩三郎(74)、杉森孝次郎(64)、森戸辰男(56)、室伏高信(53)、岩淵辰雄(53)、馬場恒吾(70)、鈴木安蔵(41)

◇20 2024.4 A4 2p

鈴木安蔵先生の思い出

小林 喜成

鈴木安蔵先生に想いを馳せ、今、新たな課題に向かって

安在 邦夫

「日本国憲法」を活かす活動が今ほど重要な時はない！

外池 光雄

◇21 2024.4 A4 2p

鈴木安蔵と憲法(12月15日) 元文部科学事務次官 前川喜平氏 文責・山崎健一

◇22 2024.4 A4 2p

心を込めて清掃、管理を 鈴木家の管理を担って 瀬下 智美

鈴木家管理報告 記録・瀬下智美

会員さんの質問③「福島への二人の鈴木とは、鈴木義男とは？」

福島県出身の二人の憲法学者、鈴木安蔵ともう一人の鈴木義男とは

◇23 2024.4 A4 2p

「鈴木安蔵を讃える会」これからの活動／「目の前から消えるものは心からも消える」

## 茨城県

### ◆下妻の文化 下妻市文化団体連絡協議会

〒304-0056下妻市長塚乙77 TEL0296-43-3418 1976年創刊

◇49 2024.6 A5 119p

表紙の写真 下妻市指定文化財 考古資料「薬王寺の板碑 二基」

「下妻の文化」第四十九号発刊にあたって

國府田 晋

災害への備え

菊池 博

「下妻の文化」発刊に寄せて

須藤 豊次

祝 辞

飯塚 秋男

山内祥さんを「名誉会員」に

横瀬 靖彦

「積み重ねる」ということ

渡邊 剛

北京冬五輪での感動物語

鮭川 好夫

寄稿文「みちのく雪見旅」

大塚 武彦

新年の誓い

武笠 昇

筑波山系の歴史的文化財を再認識

外川 崇行

子供の健全育成を考える

網川 真理

これからの教育

齊藤 修一

多賀谷氏に嫁いだ真田信繁の娘について

佐久間秀樹

戦争は本当に終わったのか？

植木 正明

砂沼散歩

加藤日支勝

地域遺産の教材化一開発と実践の往還

中島 成行

「歌」と読書

國府田 晋

「神皇正統記」と大宝沼：三島由紀夫そして飯村丈三郎（上）

塚越 節

伝統文化(行事)の今昔

吉原 好男

駒之墓

粉川 孝

騰波ノ江小学校一〇〇周年と一枚の写真  
令和五年のあしあと

飯田 光信  
中山 春男

◆常総中世史研究 茨城大学中世史研究会

〒310-8512水戸市文京2-1-1 茨城大学人文学部 高橋修研究室  
TEL029-228-8120 2013年創刊

◇12 2024.3 A5 81p

講演録 小野崎氏の薩都社寄進経―「常陸太田市天神林町文殊院蔵大

般若経について(調査概報)Ⅱに代えて

高橋 修

調査報告 「松岡地理誌」にみる城館遺跡

青木義一／山川千博

史料紹介

石井家文書(旧名：堀井文書)

森木 悠介

久慈郡千寿村千手観音堂棟札写について

五十嵐雄大

動向 地域史シンポジウム「茨城城郭サミット―県央・県西編―」の

開催

椎野 達也

新刊紹介

茨城県教育委員会編『茨城県の中世城館―茨城県中世城館総合調査  
報告書―』

椎野 達也

常陸大宮市史編さん委員会編『常陸大宮市史』資料編2

古代・中世

岡野 翔大

常陸大宮市文書館編『常陸大宮市文書館・歴史民俗資料館連携企画

展図録 佐竹一族と中世の常陸大宮』

高橋 拓也

2023年度提出修士論文

中世前期の東国武家領主と霊場

岡野 翔大

大友氏から近世豊臣政権へ

一貿易という観点から東ユーラシアという枠組みで考える

渡辺 大暉

## 栃木県

◆歴史だより 栃木県歴史文化研究会会報

〒320-0865宇都宮市睦町2-2 栃木県立博物館内 TEL028-634-1313  
年4000円 1991年創刊

◇131 2024.4 A4 4p

《特集 栃木県内の民具》

栃木県内の民具 その現状と課題

篠崎 茂雄

国指定重要有形民俗文化財「野州麻の生産用具」の成立過程と意義

宮田 妙子

さくら市ミュージアム—荒井寛方記念館—鋸展示室  
「佐野の天明鋳物生産用具及び製品」重要有形民俗文化財の指定

木村真理子  
永倉 大朗

## 群馬県

### ◆ぐんま地域文化 群馬地域文化振興会

〒371-0801前橋市文京町3-27-26 群馬県立文書館内 TEL027-226-6246

1993年創刊 <https://www.gunma-chiikibunka.jp>

◇62 2024.4 AB 36p 300円

《上信電鉄沿線の歴史と文化 特集》

歴史を掘る 南下古墳群 県指定史跡に 白石 光男

我が家で聞こえるレールの軋み 横尾隆行(号 隆雲)

第31回 石川薫記念地域文化賞 功労賞 温井眞一・外山政子、研究

賞 飯森康広／受賞者のプロフィール 事務局

石川薫記念地域文化賞受賞者特別講座⑨要旨 綿貫観音山古墳調査の

あとさき—戦後二十年の埋蔵文化財保護の歩み 梅澤 重昭

ぐんまの歴史入門講座

第242講 原始・古代 「鎬の谷」の古墳の変遷 三浦茂三郎

第243講 古代～中世 甘良谷(鎬川流域)の古社 神保 侑史

第244講 近世～近代 近世下仁田道の問屋業から近代運送業へ

—幕末期・明治初期の甘楽富岡地域の物流 関口 荘右

第245講 近代 鎬川甘楽用水の竣工 秋池 武

古文書解読入門講座(49)—古文書から歴史を読む

吉井町の草分け秋山三右衛門家と堀越文右衛門家 中嶋 義明

特集 上信電鉄沿線の歴史と文化

上野鉄道から上信鉄道へ 秋池 武

駅からめぐる地域の歴史

高崎駅周辺 上信鉄道の歴史と高崎 芹澤 始

山名駅周辺 山名八幡宮・山ノ上碑などを巡る 宮 健人

馬庭駅周辺 馬庭念流道場から牛伏山へ 瀬下 定男

吉井駅周辺 駅前運送店から八東山まで 松田 猛

上州富岡駅周辺 駅から富岡製糸場へ 片野 雄介

上州一ノ宮駅周辺 貫前神社・社会教育館などを巡る 須藤 和明

下仁田駅周辺 人・モノ・文化の集散地「下仁田」 大河原順次郎

上信電鉄沿線図 上信の駅と新屋の地名 松田 猛

一枚の写真から…… 尾瀬沼の渡船(片品村) 水田 稔

上州の関所と番所(7) 利根川固めの関所と河川水運 岡田 昭二  
ぐんまの自然と風土 世界遺産「荒船風穴」 山田 誠司

◆群馬地名だより 群馬地名研究会

〒379-2144前橋市下川町6-16 井野修二方 TEL027-265-3859 1989年創刊

◇105 2024.6 B5 12p

謙信が、沼田と下野国佐野との行き来にたどった「根利通」 須田 茂  
令和6年現地研修の報告 4月20日 前橋市東部地区 参加者16名 (須田)

◆群馬文化 群馬県地域文化研究協議会

〒372-0831伊勢崎市山王町38-38 前澤和之方 年4000円 1957年創刊

<https://gunmabunka.org/wp/>

◇351 2024.4 A5 55p

満州事変と群馬県民—「上毛新聞」にみる社会の変容 福田 博美  
箕輪城主長野方業再考 飯森 康広  
動向 『利根沼田歴史散歩』創刊号の発刊 高山 正  
群馬の歴史的建造物(10) 近代の建造物の見方 村田 敬一  
新刊紹介 野本文幸編集『前橋風』第四号「江戸から届く前橋藩主の  
指令書」 佐藤 孝之  
口絵 上毛かるた絵札原画「え」—群馬県立歴史博物館蔵品資料(152)  
武藤 直美

◆武尊通信 群馬歴史民俗研究会

〒372-0033伊勢崎市本町5226-12 永島政彦方 TEL0270-32-9070 1979年創刊

◇178 2024.6 B5 4p

葉草のセンブリと日々の生活 鈴木 英恵  
村の支配替えと改革組合村—上州那波郡後箇村を事例に 坂本 達彦  
第126回例会記事 水落建哉氏「国道一七号バイパスの建設・開通に  
よる生活の変化—藤岡市立石地区の住民の「語り」から—」(水落)、  
大野秀彰氏「上毛郷土史研究会と書簡—郷土史家・ジャーナリスト  
の応答をめぐる—」(大野)

埼 玉 県

◆あゆみ 毛呂山郷土史研究会

〒350-0445入間郡毛呂山町葛貫590 西川正己方 TEL049-294-4460 1975年創刊

◇48 2024.4 B5 88p

市民生活の変貌と行楽地—鎌北湖の盛衰	宮瀧 交二
外交官時代の安藤太郎	山崎 綾子
毛呂合戦考	杉田 鐘治
毛呂本郷を南北に貫く八王子往還	岡部奈緒美
毛呂季光、『鎌倉殿の13人』の上をいった男	
—源頼朝に最も愛された武蔵毛呂本郷の御家人	内野 勝裕
長瀬原の合戦	内野 勝裕
廻国塔についてのメモ	太田考二郎
北アルプスの大キレット	大野 孝夫
『阿諏訪いろは詩』の紹介(1)	坂本 茂
大谷木・宿谷・権現堂地区の家紋	西川 正己
表紙写真説明 滝の入 桂木観音堂の千手観音菩薩立像	小室 健二

◆うらわ文化 浦和郷土文化会

〒336-0912さいたま市緑区馬場2-14-1 青木義脩方 TEL048-874-3808

1959年創刊

◇149 2024.4 B5 12p

埼玉県指定遺跡 大門宿本陣表門	さいたま市緑区大門	記・写真 青木義脩
ある財界人の人生ノートから		町田 信
長谷川かな女		中山 厚子
星野平兵衛		野尻 靖
石井桃子		並木せつ子
八丁石工		高橋 淳子
奥瀬英三とそのアトリエ—浦和富士		中山 厚子
見学会報告 さいたま市博物館『さいたまの埴輪』		小宮 英孝
令和六年新年研修会・懇談会報告		記・野尻靖／写真・野中味恵子

◆川口史林 川口市郷土史会会誌(国県)

〒333-0842埼玉県川口市中青木3-21-29 千葉乙郎方 1968年創刊

◇89 2024.3 B5 116p

《特集 川口市制施行90周年》	
巻頭言 川口市制施行九十周年	千葉 乙郎
澤田正夫氏の逝去を悼む	櫻井 國教
大奥と御用商人	畑 尚子
煉瓦の見方	斉藤 進

川口煉瓦観察記	幾島 審
文明開化の生んだ彫刻家 大熊氏広	出野 雅也
市制90周年	
川口が『市』になった頃	千葉 乙郎
川口市鳩ヶ谷地区の川口市との合併分離再合併の経緯についての考	
察	伊澤 隆男
芝地区の歴史的発展と現在	碓 康夫
公共施設の変遷	野島 正彦
川口の歴史あれこれ	櫻井 國教
『北潜日抄』に見る川口・鳩ヶ谷	金井 英一
古文書を楽しもう	鳩ヶ谷古文書同好会
武州川口 三人の女人の物語	畦上百合子
上野 博物館・美術館 建物・庭園見学に参加して	小林三恵子
令和5年度会務日誌(事業報告)	

#### ◆久喜古文書研究会紀要

〒346-0016久喜市久喜東1-15-24 館山誠方 2021年創刊

◇4 2024.3 A4 166p

史料紹介

房川渡中田関所番士の「御用留書」を読む(4)	
一北関東不穏のなかの関所通行査検	久喜古文書研究会
弘前藩仕置集(4)～元禄八年後半編	館山誠／松本圭司／渡辺章
弘前藩仕置集(5)～元禄九年一・二月編	弘前藩仕置集を作る会
弘前藩仕置集(6)～天明四年一月編	藤居 博子
紀行文 津軽・南部藩境を訪ねて	館山 誠
近世津軽領の土地移動(最終回)一津軽領の地方証文を読む	館山 誠

#### ◆熊谷市郷土文化会誌

〒360-0044熊谷市弥生2-32 中村友多佳方 TEL048-521-1024 1957年創刊

◇79 2024.01 A5 65p

巻頭言	中村友多佳
古代大里郡の残影	岡田 辰男
『吾妻鏡』に登場する熊谷小次郎直家と久下権守直光・重光父子	鯨井 邦彦
渡辺崋山を熊谷へ紹介した足利の文人 岡田東鳩	馬場 國夫
「熊谷奴稻荷」とゆかりのある「熊谷稻荷神社」	小池 博
荻野吟子の名前を考える	蛭間 健悟

妻沼のいなり寿司	平井加余子
忍領石標 石原村に二か所あった	平井 隆
郷土熊谷の自然(3)	小池 博
委員会活動報告	
総務委員会	平井 隆
研修委員会	宮本 和男
旅行委員会	林 昌己
ボランティアガイド部 夏休みわくわく探検隊 熊谷歴史探検隊	平井 隆
定期総会の記録	平井 隆

#### ◆埼玉県埋蔵文化財調査事業団研究紀要

〒369-0108熊谷市船木台4-4-1 TEL0493-39-3955 1982年創刊

<https://www.saimaibun.or.jp>

◇38 2024.3 A4 252p

清河寺前原遺跡における単独出土の台形様石器について	水村 雄功
トチの実と堅果類のアク抜きに関する研究史	大屋道則／栗島義明
寄居町用土・平遺跡と「用土・平」式に関する覚書	通野 健
反町遺跡出土土器の数量	福田 聖
北大竹遺跡における祭祀関連遺構の再検討―出土遺物時期の整理	渡邊理伊知
北大竹遺跡出土の単鳳環頭大刀について	古間果那子
3Dデータを用いた横穴式石室の定量的分析の一手法	青木 弘
関東地方における武蔵型甕の様相	滝澤 誠
「白い坏形カワラケ」考	村山 卓
「乾武」の中世・金窪城と金窪南城	
一金久保内出遺跡・清水南遺跡調査の伴奏として	平田 重之
遺跡出土の鉛製玩具について	瀧瀬 芳之
栗橋宿における銘酒の流通―地廻り経済圏の残滓と崩壊	魚水 環
平右衛門遺跡周辺の中世と中三谷遺跡	儘田めぐみ

#### ◆埼玉県立史跡の博物館紀要

埼玉県立さきたま史跡の博物館

〒361-0025埼玉県行田市埼玉4834 TEL048-559-1111

埼玉県立嵐山史跡の博物館

〒355-0221埼玉県比企郡嵐山町菅谷757 TEL0493-62-5652 2007年創刊

◇17 2024.3 A4 93p

稻荷山鉄剣における辛亥年について	吉田修太郎
------------------	-------

菅谷館跡絵図の再検討 事業報告	堀口 智彦
令和5年度企画展「二子山古墳と祈りの器」の開催について 学芸員の仕事にチャレンジ(1)	中井 歩
「古墳を歩いて大きさを測ってみよう」について	吉田修太郎
講演録 令和4年度シンポジウム「特別史跡埼玉古墳群のこれから」 さきたま史跡の博物館史跡整備担当	岩田 明広
続々・戦国の忍びを追うー忍び戦術の具体像と補遺	岩田 明広

◆埼玉考古 埼玉考古学会

〒369-0108埼玉県熊谷市船木台4-4-1 埼玉県埋蔵文化財調査事業団内  
FAX0493-39-4091 年3000円 1963年復刊

◇59 2024.3 A4 104p

縄文時代漆製品の研究(3)ーX線CT等による寿能遺跡出土漆製品な どの内部構造の検討から 小澤清男・岩下智洋・池森慧・竹原弘展・永嶋正春 ／パレオ・ラボ AMS 年代測定グループ	
縄文中期の死産児の葬式から	嶋崎 弘之
安行式における在り系注口土器編年の再検討 ーヒレ状突帯注口土器の編年について	小松 凌
弧帯文の東限ー久喜市小林八東1遺跡出土線刻土器	杉山 和徳
羽生市横塚遺跡の再検討ー横塚遺跡は古墳時代の祭祀遺跡か？	折原 覚
六花の奥津津呂 六花の聲ー長六角形墳・四十坂1号墳の再評価	平田 重之
都幾川流域の中世前期「手づくねかわらけ」(1) ーときがわ町籬新田遺跡1地点出土の大皿をめぐって	石川 安司

◆埼玉史談 埼玉県郷土文化会

〒350-0461入間郡毛呂山町中央1-2-3 内野勝裕方 TEL049-294-1720  
年4000円 1929年創刊

◇340 (68-3) 2024.1 A5 66p

《女性会員特集号》

表紙写真 小谷の方図 桜花写(柳田さくら画)／口絵写真 葉鶏頭に  
鳥(奥原晴湖画)

歴史のあわいに対峙してー歴史書に記されていない女たちを描く	福田登女子
「六条八幡宮造営注文」と比企藤内朝宗について	齊藤喜久江
成田正等は実在したのかー「平生参洞下明識月江老」の検討	原口 和子
小室元長と如達堂	山崎 綾子

『壽樂院に遺る俳諧資料』(1) 青木 美枝  
 昭和初期まであった男女別葬～久喜市に残る墓誌より 関根 和美  
 入間郡毛呂郷毛呂宿 岡部奈緒美  
 奥原晴湖新考—男性性をまとうことについて 新島 美緒  
 画家・中島無意と長瀨 中島 泉  
 例会報告 第722回 鶴ヶ島市見学／第723回 公開講座／ラジオ放送  
 出演報告

◇341 (69-1) 2024.5 A5 64p

《秩父鉄道沿線特集号》

表紙写真 長瀨の景観(秩父赤壁・岩畳)と長瀨遊船／口絵写真 秩父  
 鐵道沿線名所圖繪(岩田初三郎画)

秩父鉄道沿線特集号企画の理由と秩父鉄道本線の歴史 村田 嘉行

天正二年の羽生城攻防及び自落をめぐる論考(1) 高島 邦仁

幸徳秋水の暇乞ひ一師岡千代子の遺品より 佐藤 繁

直勝一代の傑作「叢雨」 奥田 豊

『壽樂院に遺る俳諧資料』(2) 青木 美枝

寄居町浄恩寺の芭蕉句碑 内野 勝裕

石塔銘文検討と資料紹介 四方田 悟

秩父市井上採集須恵器について 富田 靖雄

秩父通志の基礎的検討 新井 充

信濃石の本山派修験・寿宝院 高橋 稔

萩日吉神社の流鏑馬を支えた七家の武士(前編)

一木會義仲と比企氏の関係を前提として 山野龍太郎

埼玉にアイヌ語地名はあるか(補遺) 高柳 茂

例会報告 第725回 毛呂山町見学／第726回 羽生市講演会／第727回

上尾市見学

#### ◆緑の歴史 さいたま市緑区歴史の会

〒336-0912さいたま市緑区馬場2-14-1 青木方 TEL048-874-3808 2006年創刊

◇19 2024.2 A4 20p

馬場2丁目の元禄庚申塔 青木 義脩

吉祥寺長屋門実測調査報告

赤山街道(大宮道)川口市木曾呂から赤山陣屋石神口まで 石田 教治

紀行 江戸城外堀(濠)跡を訪ねれば 橋本 弘子

見学会報告 緑区松木・南宿・馬場・宮本の石造品 大室 恵子

松木・馬場及びその周辺の石造品を案内して 青木 淳子

松木・馬場・宮本・東宿石造品	青木 義脩
川口市・峯ヶ岡八幡神社末社稲荷社本殿について	青木 義脩
大間木に暮らした人々―大間木内谷遺跡の調査から	岩井 昭子

◆蕨市立歴史民俗資料館研究紀要

〒335-0004埼玉県蕨市中央5-17-22 TEL048-432-2477 2004年創刊

◇21 2024.3 A4 142p

表紙 「蕨宿―北町交番前―」	画・當摩源一郎
蕨に現存する戦後の建物について	高松 敬
史料紹介	

大正四年(一九一五)『埼玉県蕨町 御大典記念帖』	佐藤 直哉
--------------------------	-------

小林雅助著『回顧録』	竹田真依子
------------	-------

調査報告 木造毘沙門天立像及び胎内仏 木造毘沙門天立像	青木 義脩
-----------------------------	-------

令和四年度 蕨市新指定文化財

元禄十年(一六九七)銘 銅板向い狐絵馬	青木 義脩
---------------------	-------

千 葉 県

◆我孫子市史研究センター会報

〒270-1152我孫子市寿1-3-12 荒井方 TEL04-7182-2838

<http://abikosisiken.main.jp>

◇263 (通570) 2024.4 A4 10p

歴史部会 3月の活動報告 「(近世)通行手形考―具体的事例(史料)通して」を拝聴して	飯白 和子
--	-------

古文書解読火曜部会 3月の活動報告

布施村後藤敏家文書「川岸場一件控書」(44頁～46頁)	報告者・山崎章藏
-----------------------------	----------

「我孫子市史を読む会」4月度活動報告

『我孫子市史近世編』ダイジェスト版 85～96頁	萩原 正美
--------------------------	-------

古代・中世史部会 4月活動報告

『将門記』を読む(第7回)	宗岡 恒雄
---------------	-------

井上家文書研究部会 4月の活動報告

No.975 寛政7年8月御廻状写留(分冊2、p30～p66)	岡本 和男
---------------------------------	-------

古文書解読日曜部会 4月の活動報告

「諸手控」(旧根戸村 川村一夫家文書) p1～6	山本 包介
--------------------------	-------

◇264 (通571) 2024.5 A4 8p

市史研・創立50周年記念誌の刊行について

- 古代・中世史部会 5月活動報告 『将門記』を読む(第8回=最終回)  
 及び「中臺会員の考える『王城の地』」 宗岡 恒雄
- 歴史探訪部会 5月の活動報告  
 探訪「旧沼南町 泉・柳戸・岩井地区を訪ねる」 長谷川秀也
- 歴史部会 4月の活動報告 『寛政重修諸家譜』から市内村々の旗本の  
 の相関関係をさぐる—『旗本夫人が見た江戸のたそがれ—井関隆子  
 のエスプリ日記』を手がかりに 飯白 和子
- 古文書解説火曜部会 4月の活動報告 柏市布施村後藤敏(名主善右  
 衛門)家文書「河岸場一件扣書」(p47~49) 加藤 直道
- 「我孫子市史を読む会」5月度活動報告  
 『我孫子市史近世編』ダイジェスト版 96頁~106頁迄 萩原 正美
- 井上家文書研究部会 5月の活動報告  
 No.975 寛政7年8月御廻状写留(分冊2、p30~p66) 岡本 和男
- 古文書解説日曜部会 5月の活動報告  
 「諸手控」(旧根戸村 川村一夫家文書)7~13頁前半 近江 礼子

◆木更津市史研究 木更津市

〒292-0055木更津市朝日3-10-19 木更津市教育委員会教育部文化課  
 TEL0438-23-5309 2018年創刊

◇7 2024.3 A4 85p 500円

- 刊行のごあいさつ 廣部 昌弘
- 西上総における弥生時代—古墳時代前期の土器編年 小沢洋/加藤修司
- 小櫃川河口湖計画とモデル河口湖調査—浸透実験池とは何か 湯谷賢太郎
- 木更津市の鳥類1(陸鳥) 田村 満

◆佐倉の地名 佐倉地名研究会会報

〒285-0843佐倉市中志津6-21-13 田中征志方 TEL043-489-7439  
 年2000円 2012年創刊

◇33 2024.4 A4 12p

- 新刊の紹介 多輪免喜(中)「佐倉をもっと知ろう」白井・志津編 佐倉地名研究会
- 和田の地名について(2) 八木と大道を主に 田中 征志
- 地名研の思い出 宮武 孝吉
- 地名研究会の思い出 武藤 敏子
- 遥かなる「香取の海」 野村 忠男
- 真夏の小竹城址と周辺散策 田村 康雄

青菅の教育者 小島泰堂	稲葉 実
佐倉と鎌倉	酒井 晴美
佐倉・新町の「番町」今昔	小川 眞資
志津の地名「赤弥陀」地名の考察—上志津の小学	浦澤 次義

◆成田市史研究 成田市教育委員会

〒286-0017成田市赤坂1-1-3 成田市立図書館管理係市史編さん担当

TEL0476-27-2533 1972年創刊

◇48 2024.3 A4 93p

巻頭カラー 伊能円応寺木造十一面観音菩薩立像

伊能円応寺木造十一面観音菩薩立像と大須賀直朗

—戦国期大須賀氏所縁の仏像の紹介

京極勇剛／外山信司

「三橋鷹女と第二の故郷「安房」の増補について

川名 大

聞き書き 戦時下・戦後において体験されたことを中心として

語り手・柳本和子

令和4年度市史講座 中世北総の荘園・公領(国衙領)と人々の営み

—印東庄・埴生庄・大須賀保・遠山方御厨を中心に

講師・木村 修

成田市史研究余話6

成田市水神遺跡の大型堅穴住居跡について(1)

小倉 和重

水野葉舟アルバム中の野馬捕り図

樋口 雄彦

新聞資料にみる豊住村

中村 政弘

成田市史年表稿 2021(令和3)年

解説・矢嶋毅之

成田市関係新聞記事目録 2021(令和3)年

業務記録 2023(令和5)年1月～12月

◆西上総文化会報

〒292-0802木更津市真舟4-3-8 川俣公男方 TEL0438-37-1877

◇84 2024.3 B5 164p

巻頭言

八田 英之

防人の豆

上杉 章子

黒潮が運ぶ言葉など

麦野ゆたか

儒者織本東岳と近代—私塾「始愛舎」が目指したもの

佐生 共一

木更津出身スーパーウーマン・松本えい子の残したもの

師の津田仙及び津田梅子たちとの関係

今輩倍みのり

僧月真の語ること

八田 英之

斎藤昌麿の遺歌集「昌麿家集」解説について その2(終)

諏訪 貞夫

請西藩士大野家について(2)	上 総 行
元禄八年深城村鉄砲誤射事件「お竹騒動」史料 「日本飲酒詩選」のためのエスキス	宮本敬一／翻刻・高木澄子
男女の性愛を詠った〈竹林〉に独自の洗練	河野 良恒
震災百年一関東大震災と君津地域	栗原 克榮
真武根陣屋遺址一石碑再建復旧事業報告書	林 健一
木更津は「まちづくり」の歴史	加瀬 隆
沖縄の城	佐伯文紀子
移動研修レポート	
茨城方面を訪ねる(第690回例会) 移動研修Ⅱ	藤平 俊雄
近代の西上総(第694回例会) 移動研修Ⅲ	藤平 俊雄
研究発表	
西上総の石碑を廻る 研究発表Ⅰ(第687回例会)	藤平 俊雄
千葉県の大地の歴史 研究発表Ⅱ(第689回例会)	高梨 正
内藤政恒氏による大寺廃寺跡の調査 研究発表Ⅲ(第693回例会)	宮本 敬一
例会・理事会・報告	
2023年度西上総文化会理事会報告	八田 英之
第687回例会 令和五年度定期総会と研究発表Ⅰ・懇談昼食会	
第688回例会 移動研修Ⅰ 市原方面 中止	
第689回例会 研究発表Ⅱ 千葉県の大地の歴史	
第690回例会 移動研修Ⅱ 茨城方面を訪ねる	
第691回例会 第七五回西上総文化展	
第692回例会 祝賀と忘年の会	
第693回例会 研究発表Ⅲ 内藤政恒氏による大寺廃寺跡の調査	
第694回例会 移動研修Ⅲ 木更津・袖ヶ浦・君津・富津方面	
歴史ミニ情報 浅蜷の佃煮／県令船越衛の寄附感謝状／平山開墾碑の 書者来安孫點君異／ビックリ!!木更津に「軍用気球」が不時着した	

◆房総古代道研究 房総古代道研究会会誌

〒290-0073市原市国分寺台中央6-12-3 山本勝彦方 FAX0436-23-1098  
2016年創刊

◇7 2024.4 A4 82p

表紙 広瀬盧竹『故郷姉崎町年中行事』姉崎郷土資料館より

『風土記』の伝える風土と地名

佐々木虔一

房総の名工『波の伊八』—その知られざる実像を探る

石川 丈夫

長生郡長柄町の六十六部廻国供養塔

いちはら六十六部廻国供養塔調査の会

房総における坂東三十三観音巡礼の道を復原する 市原「えど道」調査の会  
講演会紀録

「小弓公方足利義明と戦国時代の房総」聴講メモ

第61回房総古代道研究会セミナー(令和5年5月20日)	山本 勝彦
市原市の縄文大貝塚について—その魅力と今後の展望	
第64回房総古代道研究会セミナー(令和5年11月4日)	忍澤 成視
縄文の信仰と祭り—千葉県縄文後・晩期遺跡の大型建物址から探る	
第62回房総古代道研究会セミナー(令和6年1月20日)	平沢 栄作
上総国の官衙周辺の馬利用からみた牧	
第65回房総古代道研究会セミナー(令和6年3月7日)	浅野 健太
歴史随想 東北三十八年戦争に関わる房総移民の光と影	大木 英雄

## 東京都

### ◆板橋史談 板橋史談会

〒173-0015板橋区栄町24-12-203 井上富夫方 FAX03-3579-3178 年4000円

1966年創刊 <https://sites.google.com/view/itabashishidankai/home>

◇320 2024.5 B5 35p

表紙写真解説 渋沢栄一銅像(板橋区栄町三十五番) 写真と文・井上富夫

板橋区の文化財(5) 閻魔信仰をめぐって 松崎 憲三

千の風になって—ときわの杜編(3) 松浦 勉

追悼 元副会長猪瀬尚志氏を偲んで

—本会を全力で支えてくださった史蹟家 大澤 鷹遼

板橋区文化財情報 令和五年度板橋区登録文化財の決定について／中

台延命寺所蔵「般若釈迦十六善神図」及び「釈迦涅槃図」(有形

文化財 絵画・歴史資料)／鼈甲細工 保持者 岡匡巳(無形文化

財 工芸技術) 井上富夫・発信

### ◆お札と切手の博物館ニュース

〒114-0002北区王子1-6-1 TEL03-5390-5194 <https://www.npb.go.jp/museum/>

◇53 2023.12 A4 8p

紙幣寮と消防 松村記代子

お知らせ 1階常設展示室に新コーナーいろいろ

世界のお札と切手をたずねて(6)

セーシェル 固有種の宝庫／スイス 独創的なデザイン 土井侑理子

◆おのぢ艸 小島日記研究会会報

〒194-0043町田市成瀬台3-35-19 重政文三郎気付 TEL042-726-2446

◇76 2023.4 B5 14p

天野八郎と樋籠村名主田中又兵衛 小島 政孝  
開国による金とドルの問題(2) 横浜へ出かけた農閑渡世の人びと 重政文三郎  
武州一揆と正雄くん(駒木野佐藤日記の著者)の結婚 辻 清司  
ひとつこと 江戸時代の切手 廣井理恵子  
新刊のお知らせ 小島日記研究会編『博愛堂史話—幕末名主日記に見  
る江戸近郊の世相—』

◆かつしかの文化財 葛飾区文化財保護推進委員会

〒125-0063葛飾区白鳥3-25-1 葛飾区郷土と天文の博物館 TEL03-3838-1101

◇109 2023.10 A4 4p

亀有と神田祭 黒白 常光  
浄光寺の御開帳 矢島 璃子  
新宿の歴史と馬頭観音 鈴木 直宏  
下小松村旧道を巡る 林 力

◆北区飛鳥山博物館研究報告

〒114-0002北区王子1-1-3 TEL03-3916-1133 1999年創刊

◇26 2024.3 B5 88p

特集 「人々が共感しあえる博物館」をめざして

はじめに 谷口 とし  
第1章「展示—「人流」が促す展示—」 鈴木 直人  
第2章「一般向け講座—収蔵された考古資料を活用する—」 牛山 英昭  
第3章「子ども向け講座—好奇心の醸成と博物館—」 安武由利子  
第4章「広報—認知を高めるツール—」 工藤 晴佳  
第5章「博学連携—教育とともに志向する事業—」・おわりにかえて  
谷口 とし

資料紹介

作曲家・玉山英光関係資料(1) 久保埜企美子  
幕末・近代における王子・飛鳥山地域関連洋書目録 谷口 とし  
「赤羽飛行機製作所飛行場に関する一考察」の追加報告 本間 孝夫

文化財保護事業報告

令和5年度文化財調査・保護事業の概要と実績 文化財保護事業  
説明／令和5年度活動概要／刊行物／文化財説明板

令和5年度古文書調査報告(概報) 文責・田中葉子  
令和5年度民俗調査報告(概報) 文責・田中葉子  
令和5年度建造物調査報告(概報) 文責・田中葉子  
修理報告  
「旧松澤家住宅」ウマヤの竹箆の子天井および梁の修繕 文責・山口隆太郎  
付記 東京都選定歴史的建造物の選定  
令和5年度指定民俗文化財等の新型コロナウイルス対応について 文責・山口隆太郎  
指定文化財一覧表(国・都・区)・台帳登載文化財一覧(区)・文化財  
説明板一覧(平成6年3月現在)

#### ◆北区史を考える会会報

〒114-0023北区滝野川3-43-10-301 有馬純雄方 TEL03-3917-8115 1986年創刊

◇151 2024.5 B5 10p

第478回 月例見学会

板橋区立郷土資料館見学記—ギャラリートークにも参加 報告・林 健一

第477回 月例研究会 頼家・実朝の周辺を中心に 報告・室岡裕之

第479回 月例研究会

伝説の下野紡績王子工場と柿沼谷蔵と洪沢栄一 前篇 有馬 純雄

#### ◆儀礼文化ニュース 儀礼文化学会

〒160-0012新宿区南元町13-7 TEL03-3355-4188 <http://www.girei.jp>

◇234 2024.6 A4 8p

催事スケッチ 三重県伊勢市円座町 円座の羯鼓踊 写真と文・久保田裕道  
儀礼文化を語る

儀礼文化講座(令和5年度 第8回) 儀礼文化史

「日本の海外交流と伝統文化の形成」 松尾 恒一

儀礼文化講座(令和6年度 第1回) 儀礼文化論

「ブータンにみる儀礼文化」 久保田裕道

ニュース 能登地震からの復興 久保田裕道

梯子獅子舞に込められた祈りと思い 文・写真 牧野由佳

儀礼文化研究会報告

近世における婚姻儀礼における「式三献」 鈴木 一彌

龍信仰の表象—龍頭鷲首の歴史的変遷を中心に 馮 天嬌

ミュージアム探訪

京都文化博物館(京都市中京区)「松尾大社展 みやこの西の守護神」

◆市史研究きよせ 清瀬市経営政策部シティプロモーション課市史編さん室

〒204-0013清瀬市上清戸2-6-41 清瀬市郷土博物館内 TEL042-497-5811

2016年創刊

◇9 2024.3 A5 80p

口絵 『清瀬市史7 資料編 考古』刊行／きよせ懐かし写真館～清瀬駅

『清瀬市史7 資料編 考古』刊行

清瀬市史 資料調査報告(清瀬市史編さん専門部会考古部会編)の紹介

尾張藩鷹狩における上使接待と「清戸之囷」

根岸 茂夫

清瀬駅と結核療養一駅舎の変遷と病院街の変化

香西 真弓

紹介 清戸下宿遺跡

考古部会

講演会報告「戦争中の清瀬村一青年たちの同好を中心に」黒川徳男氏

専門部会の動き 考古部会／古代・中世部会／近世部会／近代部会／

現代部会／民俗部会／結核療養部会

石碑・石仏探訪(7)

野塩八幡神社の石碑 野塩三丁目 御嶽大神社石碑／野塩八幡神社

再建記念碑

黒田 一美

新堀の石地蔵と清戸道 新座市新堀二丁目

齊藤 隆雄

市史編さん室の文学ブログです きよせ結核療養ガイド プンガくんと

文学散歩／きよせ結核療養文学ガイド プンガくんと文学散歩

福永武彦2 結核発病 清瀬へ

市史で候 タイトル一覧／市史編さん草子「市史で候」 四十二の巻：

清瀬鉄道物語～西武線編(1/2)、四十二の巻：清瀬鉄道物語～西武

線編(2/2)、八十の巻：江戸時代のお名前@清瀬の巻

◆史学研究集録 国學院大學大学院史学専攻大学院会

〒150-8440渋谷区東4-10-28 TEL03-5466-0142 1971年創刊

◇48 2024.3 A5 47p

巻頭言 史料と印刷技術

根岸 茂夫

戊辰戦争をめぐる小田原江戸藩邸と国元の動向

宮澤 歩美

報告要旨(2023年度研究報告会報告要旨) 研究報告会

鎌倉中後期の牧一族と高野山無量寿院

一兼、高野山宝寿院文書の再紹介

百瀬 顕永

豊臣政権における「二大老・四奉行」論の再検討

木村 俊哉

活動状況(2023年4月～2024年3月) 古代史部会活動状況(花畑佳奈)／  
 中世史部会活動状況(木村俊哉)／近世史部会活動状況(町田美穂)／  
 近現代史部会活動報告(篠原大輝)／外国史部会活動報告(張雯雯)／  
 歴史地理学部会活動報告(小野愛佳)／博物館学部会活動状況(茅根  
 喜久)／美学美術史部会活動状況(福本直起)／考古学部会活動状況  
 (高橋怜土)

『史学研究集録』既刊目録(1号～47号)

◆史叢 日本大学史学会

〒156-8550世田谷区桜上水3-25-40 日本大学文理学部史学研究室内  
 TEL03-3329-1151

◇110 2024.3 A5 30p

大会講演 衛星リモートセンシングと宇宙考古学	惠多谷雅弘
戦国大名毛利氏の領国支配について一周防国山代一揆を素材として	白井 進
研究余録 元龜二年の畿内情勢と三木半太夫	小川 雄

◆自由民権 町田市立自由民権資料館紀要

〒195-0063町田市野津田町897 TEL042-734-4508 1987年創刊

◇37 2024.3 A5 115p

近世後期、江戸周辺村落における百姓の経済活動

一武蔵国多摩郡叡師村百姓桑蔵を事例に	小林 風
自由民権記資料館の今を考える	川崎 華菜
書評 伊故海貴則『明治維新と〈公儀〉—議會・多数決・一致』	堀野 周平
新刊紹介 横山真一著 伊東祐之・高島千代校訂『自由民権の家族史 一新潟・山添武治家の近現代』	河西 英通
2023年度 企画展「町田のおカイコさん」の記録	
講演録 養蚕が民家をエコハウスにした 民権ネットワーク	丸谷 博男
北海道	國岡 健
青森県	河西 英通
山形県	升川 繁敏
福島県	渡辺 実
茨城県	飯塚 彬
千葉県	矢嶋 毅之
東京都	福井 淳
多摩地区	松崎 稔

神奈川県	野崎 昭雄
新潟県	河西 英通
愛知県	中元 崇智
高知県	濱田 実侑
福岡県	江島 香
旧幕臣	樋口 雄彦
田中正造	赤上 剛

自由民権運動関係文献情報(37)

◆西郊民俗 西郊民俗談話会

〒112-0005文京区水道2-3-15-403 小池淳一方 年2000円 1957年創刊

<https://seikouminzoku.net>

◇267 2024.6 B5 23p

立柱の方位と龍蛇

—『簞篋内伝』巻四「造屋篇」にみられる「龍伏」の形成と展開 馬場真理子

栃木県栃木市岩船山高勝寺の享保十四年の宝篋印塔内の「十万人名入

銅筒」について

林 京子

明治二七年「茨城県猿島郡境町字冢場堤塘切所急破修繕工事之景」

—茨城県猿島郡境町の水害写真資料

印出 隆之

◆世田谷区誌研究会会報

〒158-0094世田谷区玉川3-30-5 野岸敏雄方 年2000円

<https://setagaya-kushiken.jimdofree.com>

◇2024-5 2024.5 A4 8p

5月講演会のご案内 講演会「孝明天皇と幕末政治史」伊藤寿氏

世田谷区の大名墓 豪徳寺(「せたかい」43号)

人見 輝人

◇2024-6 2024.6 A4 8p

5月講演会のご報告(区報 掲載)

孝明天皇と幕末政治史 講師：伊藤寿氏

世田谷の大名墓 大久保家 教学院最勝寺(「せたかい44号」)

人見 輝人

◆戦国史研究 戦国史研究会(発売：吉川弘文館)

1981年創刊 <http://www.sengokushi-kenkyukai.jp>

◇87 2024.3 A5 56p 682円

織田信長の平氏改姓とその受容状況

島田 裕司

松井康之に関する基礎的考察一室町幕府存続期～織田政権期を中心に

戦国大名北条氏の村落統治と「小代官」	谷橋 啓太
羽柴・長宗我部間和平交渉における本願寺顕如の調停	畑 晴将
戦国史関係論文目録(令和5年1月～6月)	戸谷 穂高
例会報告要旨	
第511回例会 中近世移行期常陸国の地域認識 —「常州佐竹」の地域表記をめぐる	今泉 徹
第512回例会 本願寺顕如妻如春の実父 —「三条三姉妹」説の再検討	浜口 誠至
第513回例会 曹洞禅僧曇英惠應が記した奥州探題大崎義兼 —『曇英禅師語録』の検討から	田中 宏志
第514回例会 丹羽長秀の越前支配—知行宛行状を通じて	功刀 俊宏
第515回例会 静岡市歴史博物館文書見学	文責・事務局
第516回例会 松田守興の出自と畿内権力 —足利義維から細川氏綱、十河一存から豊臣秀次まで	嶋中 佳輝

◆大道芸通信 日本大道芸・大道芸の会

〒157-0061世田谷区北烏山2-3-9-101 光田憲雄 TEL03-3307-2146

<https://daidougei.seesaa.net>

◇389 2024.4 A4 2p 100円

職人歌合 『七十一番職人歌合絵』

◇390 2024.5 A4 2p 100円

大道米春 維新前大道米春(搦)之図(『風俗画報』)、大道米春き(『熙代勝覧』)／質餅(黄表紙『縁組連理鯨』、『東都歳事記』)

次太夫堀公園民家園 子供の日イベント 盛況裡に終わる

◆多摩地域史研究会会報

〒207-0033東大和市芋窪4-1735-1-103 梶原方 1991年創刊

FAX042-563-2896 <http://tamatikken.web.fc2.com>

◇160 2024.5 B5 8p

第119回例会報告 国史跡鈴木遺跡 高田 賢治

2024年大会の参考図書 『昭島近代史調査報告書Ⅷ 追跡! まぼろしの八高線衝突事故 第二版』

◆多摩のあゆみ たましん地域文化財団

〒186-8686国立市中1-9-52 TEL042-574-1360 年600円 1975年創刊

<https://www.tamashin.or.jp>

◇194 2024.5 A5 106p

《特集 多摩川流域の馬事と競馬場》

考古学からみた多摩の馬事文化

松崎 元樹

古式競馬のあゆみ

長塚 孝

近代競馬の定義と歴史

日高 嘉継

八王子競馬をめぐる

村井 文彦

戦前川崎市域の競馬場—川崎・丸子・登戸・大師

鈴木勇一郎

洋風建築への誘い(83) 玉川上水の流れ・橋・建物(8)

伊藤 龍也

建物雑想記(78) 名主層の文化を伝える上羽生家・主屋

酒井 哲

古文書は語る(69) 江戸後期玉川上水羽村堰と周辺の情景

—国立公文書館所蔵文書「羽村臨視日記」より

馬場 憲一

多摩の金融史(27) 二〇世紀初頭の青梅町所在銀行

—青梅銀行・多摩銀行・青梅商業銀行

小島 康平

多摩の歴史を立体視！—赤色立体地図の風景(21)

八王子への空襲による爆弾坑について

齊藤 勉

本の紹介

一橋いしぶみの会編『学徒出陣80年目のレクイエム—還らざる学友たちへ』

古俣 達郎

矢野勝巳著『文学する中央線沿線—小説に描かれたまちを歩く』

増淵 敏之

#### ◆東京産業遺産学会 NEWSLETTER

〒116-0014東京都荒川区東日暮里2-25-13-501 中川洋方 / 〒359-0021埼玉県

所沢市東所沢2-53-24 久保健方 年2000円 <https://tias3.web.fc2.com>

◇165 2024.4 A4 8p

東京産業遺産学会2024年度総会報告

会長就任のご挨拶

小笠原永隆

事務局長就任のご挨拶

中川 洋

会長退任のご挨拶

奥原 一三

事務局長退任にあたって 東京産業遺産学会への期待・要望

多田 統一

報告 横浜建築見学会 横浜市関内周辺と山下公園の建築群 文責・吉田 修

茨城県水戸市の赤煉瓦建築物(1) 「少友幼稚園の門柱・塀・壁等」 文・八木司郎

#### ◆練馬郷土史研究会会報

〒179-0072練馬区光が丘5-2-3-806 鎌田茂男方 TEL03-3977-3091

年2000円 1956年創刊

◇392 2024.4 A4 2p

豊島氏関係資料を読み直す

豊島刑部少輔信満の刃傷事件とその背景(5)

伊藤 一美

高札場 一月例会及び令和六年度総会

五月例会新緑の秩父札所めぐり(4)

大淵寺、橋立堂、長泉院、法雲寺、法性寺

◇393 2024.7 A4 2p

武蔵関公園とその周辺の史跡巡り ①石神井川／②本立寺／関のボロ

市／③長者橋／④天祖神社東遺跡／「関」の地名の由来

葛城 明彦

高札場 三月例会

東京二十三区を歩く(6) 世田谷区 吉良氏の城下を訪ねる

豊島氏関係資料を読み直す

豊島刑部少輔信満の刃傷事件とその背景(6)

伊藤 一美

◆ねりまの文化財 練馬区地域文化部文化・生涯学習課伝統文化係

〒176-0012練馬区豊玉北6-12-1 TEL03-5984-2442 1988年創刊

◇114 2024.3 A4 8p

令和5年度新規の登録文化財

北新井遺跡出土の縄文土器(登録有形文化財)

練馬区指定文化財一覧／練馬区登録文化財一覧 有形文化財、無形文

化財、有形民俗文化財、無形民俗文化財、史跡、名勝、天然記念物

◆港区立郷土歴史館だより

〒108-0071港区白金台4-6-2 ゆかしの杜内 TEL03-6450-2107 2019年創刊

<https://www.minato-rekishi.com>

◇18 2023.12 A4 2p

「未来に伝えよう！みなと遺産 新指定文化財展」より

沽券図にみる江戸時代の飯倉

石田七奈子

三田小山町で発見された近代の痕跡

月岡 千栄

◆港区立郷土歴史館ニュース

〒108-0071港区白金台4-6-2 ゆかしの杜内 TEL03-6450-2107 2019年創刊

<https://www.minato-rekishi.com>

◇18 2023.12 A4 4p

企画展「未来に伝えよう！みなと遺産 新指定文化財展／昔のくらし

展」

◆民衆史研究 民衆史研究会

〒162-8644新宿区戸山1-24-1 早稲田大学文学学術院 藤野裕子研究室研究室  
気付 1962年創刊

◇107 2024.5 B5 112p 1750円

特集 中近世移行期における対外関係史像の構築

特集にあたって	民衆史研究会委員会
永正度遣明船の歴史的位置	岡本 真
辞令書に見る琉球社会の変化	矢野美沙子
豊臣政権の海賊取締と海民統制	吉永 光貴
コリヤード『懺悔録』に見える日欧相互不理解	米谷 均
コメント	伊川 健二
討論要旨	高砂 大成
シンポジウム「中近世移行期における対外関係史像の構築」を聞いて	兒玉 良平
書 評	
鐘江宏之著『律令制諸国支配の成立と展開』	増成 一倫
間瀬久美子著『近世朝廷の権威と寺社・民衆』	吉岡 拓
大藤修著『近世庶民社会論一生老死・「家」・性差一』	中臺 希実
木村美幸著『日本海軍の志願兵と地域社会』	小林 啓治
新刊紹介 外池昇著『神武天皇の歴史学』	相良海香子
展示短評 町田市立自由民権資料館常設展示リニューアルに際して	篠原 佑典
会務記録	民衆史研究会委員会

◆明治維新史学会だより

〒244-8539横浜市戸塚区上倉田町1518 明治学院大学 吉岡拓研究室  
2004年創刊 <http://www.ishinshi.jp/wordpress/>

◇32 2024.5 B5 17p

大会報告要旨

嘉永・安政期の京都と幕府支配体制に関する一考察	
一 京都警衛を素材に	上村 香乃
幕長戦争期の藩領「境目」における地域社会と藩権力	
一 広島藩領安芸国佐伯郡を事例に	大沼 大晟
旧藩主家の西南戦争一細川護久を事例に(仮)	今村 直樹
明治中後期における大名華族家の中等教育機関経営と旧制中学校政	
策一佐賀県を事例に	高岡 萌
小幡篤二郎の歴史認識と近代社会構想	西澤 直子

小特集「地域における文化財の活用と観光」 趣旨 事務局会報編集担当  
地域博物館は観光にどう貢献できるか—萩市の場合 道迫 真語  
博物館資料の活用と観光—福井市立郷土歴史博物館の展示を例に 山田 裕輝

◆明治維新史研究 明治維新史学会

〒244-8539横浜市戸塚区上倉田町1518 明治学院大学 吉岡拓研究室

2004年創刊 <http://www.ishinshi.jp/wordpress/>

◇23 2024.3 B5 88p

ロシア軍鑑対馬撤退の経緯に関する再考

—ポサドニック号はイギリスの介入で対馬を退去したのか 平松 千佳

公開講演記録 幕末維新时期における村と地域 渡辺 尚志

八月一八日の政変から禁門の変に至る長州毛利家の政治過程

—七卿・浪士ら「外部勢力」との関係から 熊野 一就

書 評

布施賢治著『「日本型」育英事業の思想—尚武と錬成の近代』 長南 伸治

伊故海貴則『明治維新と〈公議〉—議会・多数決・一致』 池田 勇太

新刊紹介

町田明広編『幕末維新史への招待』 本田 幸士

田口由香『木戸孝允—近代国家への志—』（萩ものがたり Vol.77） 齊藤 紅葉

二〇二三年度第五三回明治維新史学会大会記事

二〇二三年度第五三回明治維新史学会大会討論要旨

鈴木凜氏「義民像の形成・展開と民衆運動—佐倉惣五郎像を中心に」

岩立 将史

佐々木千恵氏「江戸幕府直轄洋学所による諸藩への情報提供—新聞

貸出をめぐる一考察」

山田 裕輝

高橋未来氏「西南戦争期の諷刺画—近世近代移行期における諷刺表

現の継承と変化、小新聞の視覚化」

後藤 新

本多悠介氏「明治陸軍におけるシュタイン国学導入の試みとその限

界—桂太郎の陸軍機構改革を中心に」

小宮 一夫

伊故海貴則氏「町村制下における町村合併問題と村の「輿論」—村

会・大字・個人」

今村 直樹

彙報 二〇二三年度明治維新史学会総会記事

◆洋学史通信 洋学史学会

〒182-8585調布市調布ヶ丘1-5-1 電気通信大学大学院情報理工学研究所 佐藤

賢一研究室気付 TEL0424-43-5592 <https://yogakushi.jp/n.org>

◇39 2024.2 A4 17p

洋学史学会と私 私のシーボルト標本調査 加藤 僖重  
会長に就任して 平野 恵  
9月熊本大会参加報告 青木 歳幸  
11月例会・シンポジウム テーマ：植物と洋学  
2023年度洋学史学会若手部会活動記録（11月1日現在） 文責・塚越俊志  
自著紹介

木下浩・松村紀明『岡山の種痘』 松村 紀明  
加藤僖重・甲田龍太郎・山本正江『牧野富太郎博士のシダ論文とそ  
の標本』 加藤 僖重

新刊紹介

石山禎一・梶輝行編『シーボルト書簡集成』 青木 歳幸  
中澤聡『近世オランダ治水史—「健全なる河川」と側方分水をめぐ  
る知識と権力』 青木 歳幸  
西野嘉章『洋学誌 解剖・言語・博物』 青木 歳幸  
大久保健晴『福沢諭吉 最後の蘭学者』 橋本 真吾

新入会員紹介

国語学史・国語学と洋学史学会の接点—私の研究・関心紹介 河瀬 真弥  
会員動向 向井晃氏の訃 沓澤宣賢寄

## 神奈川県

◆厚木市史たより

〒243-0018厚木市中町3-17-17 厚木市教育委員会文化財保護課  
TEL046-225-2060 2010年創刊

◇30 2024.3 A4 4p

独立税ミシン税の課税—昭和前期の税制を振り返って 井上 泰

◆小田原史談 小田原史談会

〒250-0013小田原市南町4-1-24 松島方 TEL0465-23-8635  
年3000円 1961年創刊 <http://odawara-shidan.hustle.ne.jp>

◇277 2024.4 A4 32p

関東大震災に学ぶ科学と知恵—「関東地震は繰り返す」  
神奈川県温泉地学研究所・主任研究員 本多亮さん 聞き起こし・青木良一  
スケッチ川柳 爺爺漫評篇 穴戸 忠夫  
小田原ご当地物語り 青物町(その2) うちが青物町の熊澤屋です

話し手：野澤俊男さん

聞き起こし・松島俊樹

小田原史談会 古典講座紹介 『伊曾保物語』を読んでみよう 阿部美知代

「高田掬泉 日記」発売中／開催中！ 新・古典講座『源氏物語』こ

とはじめ

小田原町立小田原高等女学校「地震・火災罹災記事録」

翻刻 山口隆夫／校訂・解説 星野和子



\*小田原史談会はかねて震災の記憶の伝承に取り組んでいるが、昨年度は、震災記念碑を拓本化し、本年度に出版を計画しているとのことである。

温泉地学研究所の本多亮主任研究員による講演「関東大震災に学ぶ科学と知恵—「関東地震は繰り返す」」は、関東大震災における地震のメカニズムを最新の科学的知見に基づいて解析し、小田原周辺の地震被害の特徴を述べたものである。最後に、緊急地震速報の仕組みや、小田原は断層の構造上、津波が高くなりやすいことなども解説される。科学知識に基づいて正しい防災意識を持つことの重要性を思い知らされる。

山口隆夫翻刻、星野和子校訂・解説の「小田原町立小田原高等学校「地震・火災罹災記事録」」は、関東大震災当時同校の校長であった市内飯泉山勝福寺住職峯堅雅師による手書きの罹災記録である。当日から9月19日までの、被災・被害状況、救出活動、避難民対応、支援要請、内務省からの通牒など、自身の体験と、教諭、事務職等からの聞き取りを交えて、克明に記述した貴重な資料である。

#### ◆かまくら女性史の会 Newsletter

〒248-0012鎌倉市御成町18-10 N P Oセンター鎌倉気付 メールボックス26

2013年創刊 <https://kanagawajoseishi.jimdofree.com>

◇116 2024.5 A4 2p

人の尊厳に向き合う

渡邊 公子

シリーズ：私たちの「戦争体験」(40)

武藤育子さんの戦争体験③ 聞き書き：前田セツ

総会記録

(横松)

◇117 2024.6 A4 2p

卓球少女、図書館司書になる一昭和2年生まれ母の青春

西 弘子

シリーズ：私たちの「戦争体験」(41)

武藤育子さんの戦争体験④ 聞き書き：前田セツ

史の会研究誌7号から(1)「渾大防一枝一戦争の愚かさを演劇や朗読  
で訴える」感想

(曾原)

#### ◆市史通信 横浜市史編集室

〒220-0032横浜市西区老松町1 横浜市中央図書館地下1階 TEL045-251-3260

2008年創刊 <https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/yokohamashi/gaiyo/shishioryo/>

◇49 2024.3 A4 12p

横浜観光と野毛山一遊覧バスのルートによる考察

岡田 直

昭和初期、都筑郡田奈村の農業生産―「経済更生基本調査書」から

百瀬 敏夫

ボングレー洋装店のアルバムから

上田 由美

閲覧資料紹介 『愛称道路』横浜市道路局

一九七八(昭和五三)年、八四(同五九)年

岡田 直

#### ◆首都研ネットワーク 首都圏形成史研究会

〒231-0021横浜市中区日本大通3 横浜開港資料館内 TEL045-201-2169

年3000円 <http://shutokenshi.org>

◇101 2024.6 B5 4p

研究例会 2024年度総会・第129回例会 清瀬駅開業100周年記念シン  
ポジウム／次回の研究例会 第130回例会(予定) 首都圏形成史研  
究会・専修大学社会科学研究所合同シンポジウム「首都圏の関東大  
震災100年―博物館の企画展示事業を中心に―(仮)」

清瀬駅開業100周年記念シンポジウム

鉄道遺産の保存と自治体の役割 開催趣旨

小研究会の活動状況 首都圏災害史研究会、戦後首都圏研究会

#### ◆逗子吾妻鏡研究

〒249-0008逗子市小坪4-12-11 伊藤一美方 年3000円 1990年創刊

◇49 2024.1 B5 6p

吾妻鏡を読むために(40) 鎌倉初期の友友能直について

伊藤 一美

中世人の手紙を読む(9)

足利貞氏後家としての上杉清子の力と判断 伊藤 一美  
図書紹介 J・F・モリス著『伊達家 仙台藩』

◆日本の石仏 日本石仏協会(発売:青娥書房)

〒254-0031平塚市天沼7-59-305 TEL0466-24-0203 年8000円

1977年創刊 <http://sekibutukyokai.jp>

◇182 2024.4 A5 96p

河根丹生神社石造狛犬(表紙写真) 和歌山県九度山町河根 撮影・解説 山下立  
巻頭言 持続可能な日本石仏協会を目指して

一會長職が考える改革の基本方針 川野 明正

特集 狛犬

南シナ海北部湾辺の石狗(上)一風水系靈獣が示す東アジア靈獣像に  
おける日本狛犬の死角/シナ海石造獅子・狗犬文化圏の比較研究

(8) 川野 明正

笏谷石製狛犬分布域の拡大―千葉・和歌山・広島各県下の笏谷狛犬

山下 立

山口県内における参道狛犬の発生とその展開

藤井 克浩

事例報告 許摩神社石造狛犬の制作工程

綱川 潔

迷子しるべ石標考(下)

中森 勝之

熊本県の石幢(石幢探訪④)

高野 幸司

石仏入門(36)「日本石仏図典」補足・X

門間 勇

日本狛犬史から見た石造狛犬(3)

山下 立

会員の広場

人間が囚われている狛犬二題(下)―熊本県の鶯原菅原神社の「人喰い  
狛犬」と秋田県の朝熊神社狛犬

川野 明正

左官作の狛犬―埼玉県富士見市南畑

門間 勇

二つの波布比賣命神社と大川徳三郎系の石造狛犬

中村 達雄

小田原の狛犬三題

齊藤よし子

粘土で狛犬を作る

桑久保紀代子

第一四〇回 石仏一日見学会報告

さいたま市中央区の石仏 案内者:寺内慎一

門間 勇

バス見学会報告 埼玉県比企郡地方の石仏 案内者:門間勇

三代川千恵子

二〇二四年石仏写真展報告

長島 誠

訃報 加藤和徳氏

同好の友を惜しむ

小松 光衛

第四八回総会報告 講話「東日本の養蚕信仰と蚕神の石仏」

講師：下平武氏（本会理事）

◆扣之帳 扣之帳刊行会

〒250-0021小田原市早川60 青木良一方 TEL0465-22-8852 年2500円

2003年創刊

◇82 2024.5 A5 136p 500円

「れきぶん」の杉山先生の講義を聴いて 奈良の平群谷に行く	青木 良一
夕鶴は翼上げて	露木 昭美
横浜文学散歩(2) 心が芸術を思う時 谷崎は悪魔の美に憧れた	戸田 博史
小田原藩領飯泉村の仕法	尾上 武
小説一幕末銀板写真倶楽部 ポトゲラヒ(14)	荒河 純
禪のみち(3)	岸 達志
幻想微片〔シリーズ〕の連載を終了て	小濠 眞寶
十二月八日の記	芳賀喜久雄
鉄斎の謎(8)	茂木 光春
『関東大震災被害報告』(4)	

◆藤沢市史研究 (続)藤沢市史編さん委員会

〒251-0054藤沢市朝日町12-6 藤沢市文書館 TEL0466-24-0171 1970年創刊

◇56 2024.3 A5 73p

口絵説明 文政十一年十月相州高座郡打戻村絵図(宇都母知神社所蔵)

講座報告

藤沢市文書館主催 令和4年度藤沢市史講座「相模国をにぎわした

鎌倉武士たち」特集にあたって 伊藤 一美

相模国の武士団と都市鎌倉 報告要旨 松吉 大樹

渋谷荘・吉田荘と渋谷氏 石塚 勝

大庭(懐鳥)景義・大庭景親の歴史的位置

—鎌倉初期両大庭氏の選択と「家」の分立 伊藤 一美

藤沢市史子ども講座実施報告—二〇二二・二〇年度について 加東 厚子

史料紹介

文政十一年十月相州高座郡打戻村絵図 平野 雅道

宇都母知神社の白川家御染筆の額について 平野 雅道

◆民具マンスリー 神奈川大学日本常民文化研究所

〒221-0802横浜市神奈川区六角橋3-27-1 TEL045-481-5661 年3500円

1968年創刊 <http://jominken.kanagawa-u.ac.jp>

◇673 (57-1) 2024.4 A5 24p 350円

台湾・国立陽明交通大学客家文化学院「植松明石文庫」

一客家文化学院と資料構成の紹介を中心に  
奥丹生谷の木かご 小原かご

山本 芳美  
荒井恵梨子

マンスリー掲示板 高浜町郷土資料館 ミニ企画展「高浜の民具」

◇674 (57-2) 2024.5 A5 24p 350円

「川名縞」について

高橋 典子  
高嶋 賢二

佐田岬半島ミュージアムの常設展示

書籍紹介 荒井恵梨子著『小原かご 自然と神々と暮らした人びとの  
民具』(2023年5月30日発行 95頁 能美舎)

今石みぎわ

マンスリー掲示板 ただみ・モノとくらしのミュージアム 第2回テ  
ーマ展「身につける民具」/国立民族学博物館 みんなく創設50周  
年記念特別展「日本の仮面—芸能と祭りの世界」/おもちゃ映画ミ  
ュージアム 「毛利清二の世界—映画とテレビドラマを彩る刺青展」

◇675 (57-3) 2024.6 A5 24p 350円

韓国の博物館に千歯コキがあり、土臼がないのはなぜか—民具におけ  
る帝国/植民地のつながりを中心に

イ・ミンジェ(李致宰)

たそがれ考—その曖昧領域の民俗的意味

板橋 春夫

書籍紹介 『歩いて集めて見て聞いて—消えゆく暮らしを記録せよ』 安齋 順子

#### ◆歴研よこはま 横浜歴史研究会

〒230-0062横浜市鶴見区豊岡24-6 熊本修一方 1984年創刊

<http://www.yokoreki.com>

◇86 2024.5 B5 62p

令和6年度を迎えて

熊本 修一

令和6年度定期総会・新春講演会 第一部 定期総会/第二部 新春  
講演会 松尾光先生「孝謙女帝の結婚話—淳仁天皇の後をめぐる」 (千)

聖徳太子を見つめる中大兄 皇太子執政の前例

松尾 光

大伯皇女 夏見廃寺(2)

遠田千代吉

「洛西散策」我が庵周辺を楽しむ(3) 西 廣澤池から北嵯峨、大覚寺

高橋 正一

我が父について 関東大震災体験記を読んで

田代信太郎

帰化人

青柳 敏行

禅宗様建築

森 彩子

八甲田に想う(青森雑感)

榎 良生

銚電を止めるな 義経伝説の残る町

鈴木美恵子

日々生々	加藤 導男
3月のトラウマ	瀬谷俊二郎
サビエンスの欠陥病(2) 色葉匂へど その10	宮下 元
「七福神巡り」から思ったこと	木村 高久
「おくのほそ道」と中国語(1)	長田 格
会員の研究発表要旨(令和5年10月～令和6年3月)	
令和5年度「第2回横歴はま寄席」神奈川公会堂で開催	高尾 隆
令和5年度 秋の歴史散歩 晩秋の西鎌倉逍遙	(YK)
新人会員自己紹介(令和6年1月～3月入会)	
おすすめ本コーナー 宮城谷昌光『楽毅』(石井昭徳)／NHKスペシャル取材班『新・幕末史』(高田茂)／町田明弘編『幕末維新史への招待』(平博子)／棚橋正博『吉原と江戸ことば考』(高津正治)	
追悼の辞 相談役 丹下重明さんを偲んで	加藤 導男
追悼の辞 永年会員 市川康夫さんを悼む	加藤 導男
表紙の写真 「横浜緋桜」(岸根公園)	

## 新潟県

- ◆郷土史燕 燕市教育委員会・燕郷土史研究会連合会  
〒959-1262燕市水道町1-3-28 燕市教育委員会社会教育課文化振興係  
TEL0256-63-7002 2008年創刊
- ◇17 2024.3 A5 117p
- |                                       |       |
|---------------------------------------|-------|
| 『郷土史燕 第17号』発刊に寄せて                     | 小林 靖直 |
| 記憶に留めておいたこと一分水町の祝言と音頭取りの歌詞 片桐良五(談話記録) |       |
| 庚塚新田村について                             | 本間 敏則 |
| 富永村庄屋 田辺賢吾遺志 頌徳之碑～遊日を設けた顕彰事業～         |       |
| ～子孫ではなく村人が建てた顕彰碑～                     | 亀井 功  |
| 先祖開発の地に私設分水路の建設に挑んだ平澤林四郎              | 平澤 陽一 |
| 佐渡奉行赴任の道、三国街道一天保十一年川路聖謨の赴任から          | 竹内 登  |
| 戊辰戦役史料「藤蔵膝御代請取書」                      | 西海士寿郎 |
| 良寛の父は誰か                               | 本間 明  |
| 良寛禅師三条自身を詠う                           | 塚本 智弘 |
| 表紙の写真について 燕市指定文化財 長善館址碑               |       |

- ◆郷土新潟 新潟郷土史研究会  
〒950-2173新潟市西区五十嵐三の町東4-11 菅瀬亮司方 TEL025-262-0872

年4000円 1963年創刊

◇64 2024.3 A5 89p

表紙 「積善有餘慶」(館柳湾) 新潟県立文書館所蔵

大野無宿栄八

伊東 祐之

新発田藩銃隊の一考察

富井 秀正

新潟ドイツ領事の娘ヨハナのゆくえ

青柳 正俊

ミオラ伝説考(2) チャリネとスリエ

村木 智弘

戦中、終戦直後の新潟で

植村 敏秀

小特集「昭和・平成—私の思い出⑤」

昭和・平成—私の思い出～「歴史」との出会い

伊藤 雅一

学徒が結んだ えにし徒然

大田 朋子

昭和二十年の鍛冶小路界隈

小寺 嘉信

新潟地震のこと

柳生 正文

あの時の、記憶

渡邊 等

資料紹介 伊藤家「諸日記帳」(11)

伊藤 雅一

秋の研修旅行 新潟市内の文書保存施設と鉄道の歴史をめぐる旅

山上 卓夫

会の活動

新潟郷土研究会が「新潟市表彰」を受賞

高橋邦比古

#### ◆長岡郷土史 長岡郷土史研究会

〒940-0849長岡市長倉西町458-7 長岡市立中央図書館文書資料室内

TEL0258-36-7832 年3500円 1960年創刊

◇61 2024.5 B5 255p

口絵 郷土の歴史資料紹介(10) 古志郡長倉村絵図(長岡市立中央図書館所蔵)／長岡郷土史研究会の活動—令和五年度

特集1 会誌『長岡郷土史』の回顧と展望 座談会「長岡郷土研究会の先輩たちを語る」(吉澤俊夫・山崎昇・剣持利夫・稲川明雄・

今井雄介・井上慶隆・滝沢繁)

長岡郷土史編集委員会

特集2 長岡市歴史文書館の開館

令和五年度の長岡市歴史文書館

長岡市歴史文書館

長岡はなぜ「長岡」なのか—地名に刻まれた歴史

田中 聡

馬高遺跡と縄文時代の集落(1) 越後長岡・火焰土器の話(10)

小熊 博史

魚野川の由来を探る(下)

中村 信行

蔵王権現 別当安禅寺と神田安禅寺・栖吉普濟寺の歴史

—長尾景虎の栃尾城登場がもたらした越後長岡の歴史断片

石田 哲彌

御館の乱の時期の栃尾城の構造

目黒 公司

蔵王様と富島村の関わり	山岸 利光
史料から見た上前島の集落の移転と信濃川の流れ関係	堀井 實
得誉上人單瑞とその周縁の人々—松平定信との関係を中心に	小林 宏
近世年中行事考 長岡藩領の五節句から	山沢 拓見
長岡藩の経済状況について	小泉 秀也
河井継之助の学問と実践	太田 修
河井継之助の行政学(上) 禄制改革について	土田 和弘
まちのうわさの継之助(2)—塚野山村長谷川家文書に記された河合継之助と北越戊辰戦争の風聞	新田 康則
新たに発見された小林虎三郎の「伊香保日記」	小熊よしみ
三島億二郎の肖像画 その謎を探る—いつ描かれたものなのか	湯本 泰隆
白峰駿馬の交遊録	廣瀬 剛
梅浦精一の演説についての一考察—特に「温知会」に着目して	松本 和明
長岡の麻真田工業	内山 弘
史料紹介	
長岡銀行栃尾出張所／栃尾支店 営業報告書「営業ノ景況」	井辺 吉伸
桐谷洗鱗画業研究 志ざすところ 補遺 資料解説	深見 寶夫
『北越偉人沙門良寛全傳』の著作者・西部久吾	金垣 孝二
横山操の母と「昭和新山」「夕張炭鉱」の履歴	猪本 爾六
「ながおか学」補説(7)—近代信濃川舟運を調べる(中)	米山 忠彦
戦争と花火—戦前の新潟県における花火大会への戦争の影響	長谷川健一
魚沼線と越後交通線の変遷・「小千谷信濃川水力発電所」開館	長谷川浩一
NCT「我が町自慢」で来町された上除町	小片 莊平
地域探訪報告 歴史文書館のある「あおしの里・長倉」を訪ねる	山田美由紀
開催報告 令和五年度 古文書解説講座	桜井菜穂子
活動報告 令和五年度の長岡市委託事業から	長岡郷土史研究会
井上慶隆研究資料について	西 和美
文政元年「諸掛合留・日記並」等の翻刻について	林 朋子
文化十四年「呼出・請書・申渡・触出・届書留」等の翻刻について	池田 茂
文化十四年「願書留」翻刻作業について	樺澤 幸子
長岡郷土史研究会 令和五年度会務報告	長谷川健一

## 富 山 県

### ◆高岡市万葉歴史館紀要

〒933-0116高岡市伏木一宮1-11-11 高岡市民文化振興事業団

TEL0766-44-5511 1991年創刊 <https://www.manreki.com>

◇34 2024.3 A5 129p 1000円

2023高岡万葉セミナー

- 秋草のさびしさ極み—万葉集恋歌の表現と草花 影山 尚之  
「大伴家持能登巡行—内湾舟行の理由—」併せて「追跡 たぶの木・  
つままの木—交わらない研究 民俗学万葉学—」 藤原 茂樹  
『萬葉集』における「神代(神の御代)」観 森 陽香  
伝源俊頼筆『萬葉集』切(為氏様切)について  
—あらたに収蔵した断簡の紹介 新谷 秀夫  
カムナビとミモロに関する一考察 横内 亮太  
吉田包春作・正倉院模造宝物「子日目利箒」「粉地彩絵倚几」(高岡市  
万葉歴史館蔵)と大伴家持の玉箒の万葉歌について(2)—穂井田忠友  
『観古雑帖』と谷川士清『和訓栞』 田中夏陽子  
放生津八幡宮中納言大伴家持御碑 太田 久夫

## 石 川 県

◆石川れきはく 石川県立歴史博物館

〒920-0963金沢市出羽町3-1 TEL076-262-3236 1986年創刊

<https://ishikawa-rekihaku.jp>

◇145 2023.11 A4 8p

表紙 佐々木泉玄筆「蓮湖真景之図」(東岸)

企画展「れきはくコレクション2023」

- 資料紹介 加賀藩人持組士の指物 林 亮太  
学芸員コラム 仏像の展示と耐震のはなし 岡崎 道子  
研究ノート 刀工清光にまつわる逸話 大井 理恵

◆金沢文化振興財団研究紀要 公益財団法人金沢文化振興財団

〒920-0999金沢市柿木島1-1 金沢市第二本庁舎2階 TEL076-220-2190

◇21 2024.3 A4 69p

- 前田土佐守家準代前田直養の日記「覚書」(翻刻)五 竹松 幸香  
続・秋聲と信州—矢鳥家の“足迹” 藪田 由梨  
資料紹介 室生とみ子日記(3) 昭和三十一年 嶋田亜砂子  
木村榮没後における顕彰活動の目的と現状 山岸遼太郎

◆加南地方史研究 加南地方史研究会

〒923-0903小松市丸の内公園町 小松市立博物館内 TEL0761-22-0714

1955年創刊 <http://kananchihoushi.com>

◇71 2024.3 B5 88p

はじめに	竹下 一郎
日露戦役・戦時日誌	竹下 一郎
善男善女「死の吉崎参り」	岡田 孝
鎌倉末期南禅寺領加賀国得橋郷について	
一延慶二年得橋郷内検名寄帳案の分析を中心に	室山 孝
酒井家文書整理(2) 金融関係	山前 圭佑
『小松旧記』より吉利支丹宗門改について	橋本 正準
建立されなかった記念銅碑	岡田 孝
河田谷内町八幡神社昇格願いと調書について	高 酋外
第68回青空教室の報告	石黒 有生
雲龍山勝興寺	益井千鶴子
歴史研究青空教室に参加して	真名子純子
新修小松市史にかかわって	山前 圭佑
金戸隆幸氏を偲ぶ	橋本 正準
金戸隆幸先生追悼	山崎みどり
活動報告 創立七十周年記念式典・記念講演開催	

山 梨 県

◆甲斐 山梨郷土研究会

〒406-0032山梨県笛吹市石和町四日市場1566 帝京大学文化財研究所内

TEL055-263-6441 1961年創刊

◇162 2024.1 A5 46p 1000円

極楽寺村只七の伊勢参宮日記	土橋 孝子
石碑「法城寺趾」について	河口 洋光
甲州街道歴史植物散歩二(上)	天野 安夫

長 野 県

◆飯田市歴研ニュース 飯田市歴史研究所

〒395-0803飯田市鼎下山538 TEL0265-53-4670

<https://www.city.iida.lg.jp/soshiki/39/>

◇130 2024.6 A4 4p

飯田市歴史研究所2024年度研究計画

新所長挨拶

伊坪 達郎

ワークショップ 昔の「声」を聞いてみよう～上郷有線放送の番組から(仮称) 講演:安岡健一さん「地域メディアが作る「わたしたち」の歴史」

リレーミニエッセイ(35) 美味しいリンゴを収穫するには?

一地方博物館の現状と課題

千葉 拓真

第21回飯田市地域史研究集会を開催します 講演:田島公さん、海野聡さん/報告:羽生俊郎さん、田口博人さん

◆伊那 伊那史学会

〒395-0152飯田市育良町2-2-5 南信州新聞社 TEL0265-22-3734

年6000円 1952年創刊

◇1148 (72-1) 2024.1 A5 50p 550円

遠山霜月祭の遠山氏御霊面と湯切り

櫻井 弘人

特別寄稿 伊那谷の民俗芸能調査回想の記

一東京国立文化財研究所発足期

三隅 治雄

遠山霜月祭と御霊信仰—江戸時代における飢饉・疫病流行との関わり

櫻井 弘人

泰阜村の「樽木踊」の調査から—漆平野[しっぺの]・我科[がじな]

近藤 大知

「新野雪祭り」国立劇場公演の記録

金田 昭徳

◇1149 (72-2) 2024.2 A5 50p 550円

口絵 長持ちする竹の、伐採時期の事など

橋都 正

名木「園原の帯木」に就いての挿話(2)

下原 恒男

四大人平田篤胤嗣子平田鍊胤の書簡

竹村 道生

ただひたすらに—憧憬 林芋村先生(2)

鋤柄 郁夫

飯田市山本大明神原の開墾史—大明神地区の耕地整理事業より

所澤 隆雄

飯田索道について—紆余曲折の一面

吉田 治忠

下伊那日録 2019年7月～8月

寺田 一雄

◇1150 (72-3) 2024.3 A5 50p 550円

口絵 今も続く上市田の観音講

塩澤 元広

天竜川中流域の川除と守護神たち(上)

鈴木 信孝

熊谷直退改名して直董になること

宮下 金善

下伊那発のマラソン大会 明治三十四年の『大競走』

竹村 雄次

栗岩英治のみた下伊那史の特色

前澤 健

市田小学校における満蒙開拓青少年義勇軍の送出	塩澤 元広
下伊那日録 2019年8月～2020年2月	寺田 一雄
◇1151 (72-4) 2024.4 A5 50p 550円	
《伊豆木小笠原氏特集》	
口絵 戦前の旧小笠原家書院と現在の書院と小笠原資料館	前澤 健
旧小笠原家書院四〇〇周年祭	三穂地区実行委員会
小笠原家書院の魅力	吉澤 政己
伊豆木・小笠原氏と人形芝居	櫻井 弘人
小笠原長巨の知行割考	前澤 健
なぜ下平駅と下市田駅ができたのか	塩澤 元広
南信州の宝篋印塔の様相(上)一特に中世建立石造物を中心に	岡田 正彦

◆伊那路 上伊那郷土研究会

〒399-4117駒ヶ根市赤穂11193-7 吉田保晴方 年6000円

◇807 (68-4) 2024.4 A5 40p 600円	
井月研究ノート(3) 『むつひくさ』と井月	一ノ瀬武志
上伊那の植物(5) カタクリ(ユリ科)	伊藤 一幸
犬神碑考(2)一伊那谷の犬神関係碑	伊藤 修
伊那谷のトキー民俗の窓を通して(49)	吉田 保晴
地域の歴史とその教訓を次の世代に	
一登戸研究所調査研究会5年間の活動から(1)	松久 芳樹
わらべ歌は話し言葉が音楽化したものとみていいんじゃない?!	
一話し言葉とわらべ歌との接点を探って	竹舘 修二
図説・上伊那の民俗(79)	
お高祖頭巾をかぶった双体道祖神(飯島町本郷五中央組)	三石 稔
絵で見る伊那谷の昆虫(1) ツマキチョウ	田中 邦治
◇808 (68-5) 2024.5 A5 40p 600円	
《特集 中村弥六》	
中村弥六シンポジウム講演録	
開会趣旨	高橋 博文
基調報告 高遠町から見るアジアーアジア主義者としての中村弥六	趙 軍
メディア(新聞)の中の布引丸事件・中村スキャンダル事件	金山 泰志
中村弥六 マイナスイメージの形成一犬養毅との関係を中心に	木村 実季
アジア・太平洋戦争終戦前後にみる中村弥六に対する評価の変化	佐野 実
晩年の中村弥六と中国一梅屋庄吉・王大楨関係資料を中心に	円谷裕美子

- 中村弥六と王大楨  
 高遠町による中村弥六関係史料の保存と継承  
 図説・上伊那の民俗(80) 上宮外県獅子舞(中川村大草北組)  
 絵で見る伊那谷の昆虫(2) アカボシゴマダラ  
 ◇809 (68-6) 2024.6 A5 48p 600円  
 《自然特集》  
 ワサビ田の自然  
 上伊那の植物(6) ワサビ  
 南箕輪村ワサビ田の歴史と現状  
 中央アルプスの氷河と「菅の台の七名石」  
 一七名石は氷河による迷子石か  
 中央アルプスの登山道整備  
 犬神碑考(3)―お犬様(三峯信仰)と犬神碑  
 図説・上伊那の民俗(81) 田植え(飯島町七久保)  
 絵で見る伊那谷の昆虫(3) ハッチョウトンボ
- 片倉 芳和  
 福澤 浩之  
 三石 稔  
 田中 邦治  
 吉田 保晴  
 伊藤 一幸  
 佐々木育夫  
 下平 眞樹  
 矢満田 務  
 伊藤 修  
 三石 稔  
 田中 邦治

◆伊那民俗 柳田国男記念伊那民俗学研究所

- 〒395-0034飯田市追手町2-655 飯田市美術博物館内 TEL0265-22-8118  
 年3000円 1990年創刊 <https://inaminkenhome.blogspot.com>  
 ◇137 2024.6 B5 8p  
 鏡台の前で／昭和60年代の嫁入り道具  
 野底山の解禁日―山の口明けから御神木取りへ  
 表紙写真解説 母子2代の嫁入り儀礼  
 『上郷飯沼の民俗』の刊行によせて 循環型社会の継続を願う  
 報告 2024年度総会・記念講演・研究発表  
 後藤総一郎初代所長の願いを実現する 「一般社団法人 柳田國男記  
 念伊那民俗学研究所」設立
- 小山田江津子  
 今井 啓  
 小山田江津子  
 名倉慎一郎  
 米山 梓  
 松上 清志

◆信濃 信濃史学会

- 〒399-0036松本市村井町南1-28-35 年10200円 TEL0263-58-1213  
<http://www.shinano-shigakukai.jp>  
 ◇891 (76-4) 2024.4 A5 72p 1150円  
 諏訪大社上社前宮起源についての考古学的考察  
 鎌倉幕府滅亡と海野氏―鎌倉期海野氏についての補論  
 本洗馬釜井庵と高野山徳善院  
 一高野山徳善院と檀家関係を結んだ松本小笠原氏
- 鶴飼 幸雄  
 花岡 康隆  
 中原 文彦

書評

二本松泰子著『真田家の鷹狩り—鷹術の宗家、柵津家の血脈』 小助川元太  
書籍紹介 板橋春夫著『日本民俗学の萌芽と生成』 福澤 昭司

長野県郷土雑誌関係要目／雑誌関係要目

◇892 (76-5) 2024.5 A5 72p 1150円

第百十七銀行と地域金融構造 田中 雅孝

松代藩における浪人格(補遺) 原田 和彦

『本家日記』にみる近世後期の村社会の特質と変容(上) 中村美美子

村井宿の「一蓮托生」墓碑—江戸中期の心中供養碑かを考察する 浜野 安則

長野県郷土雑誌関係要目

◇893 (76-6) 2024.6 A5 72p 1150円

《特集 シンポジウム「史資料の収集・保存・散逸防止と史誌編さん」》

報告 昭和四〇年代の長野県の史誌編さん

—『信濃史料』刊行終了と『長野県政史』・『長野県史』 村石 正行  
問題提起

近現代史の史資料の保存と活用—主として民間の史資料に関わって

桂木 恵

小冊子の発行を通して思うこと

小林 一郎

史資料の収集保存から、新しい史誌編さんへ

—大昔調査会の活動を通じて

高見 俊樹

アーカイブズにおける歴史資料(歴史公文書等)の保存と整理 松島 耕二

シンポジウム

宮下明彦／春日利比古／高見俊樹／小池秀昭／村石正行／桂木恵／

松澤果穂／松島耕二／中島庄一／小林一郎／楯英雄／司会・福島正樹

長野県郷土雑誌関係要目／雑誌関係要目

◆千曲 ふるさとに学ぶ 東信史学会

〒386-0024上田市大手2-7-13 上小教育会館内 TEL0268-24-2182

年3000円 1974年創刊

◇181 2024.6 A5 63p

「常福寺・大英寺・芳泉寺」をめぐって

—真田氏菩提寺から仙石氏菩提寺へ

寺島 隆史

佐久地方における八月一日の墓参り

—寛保二年「戌の満水」起源説を考える

市川 包雄

古文書にみる「元文金銀改鑄と上田」について

塩澤 展子

連載講座 古文書解説講座 第172回

寺島 隆史

『千曲』論文目録—141～180号

事務局

総会報告

扉写真と解説 上田市指定文化財(史跡)大蔵京古墳

倉澤 正幸

#### ◆長野県民俗の会通信

〒384-2104佐久市甲135 田澤直人方 TEL0267-88-6927 年5000円

<http://nagano-minzoku.chu.jp>

◇301 2024.5 B5 8p

祖父との言葉あそび

倉石 美都

昭和五九年の「甲子」塔建立記録

三石 稔

令和五年度総会の概要報告

(巻山記)

## 静岡県

#### ◆赫 夜一カゲヤ 富士山かぐや姫ミュージアム博物館だより

〒417-0061富士市伝法66-2 TEL0545-21-3380

<https://museum.city.fuji.shizuoka.jp/index.php>

◇81 2024.3 A4 4p

令和5年度春のテーマ展「伝えていくもの～博物館の New Face」 佐野あき沙  
展示会開催報告

秋のテーマ展「学びの窓 150年」

秋山 裕貴

第60回企画展「東海道にかけの富士の橋」

杉本 寛郎

トピックス

旧稲垣家住宅屋根葺き替え見学会 開催報告

秋山 裕貴

学校と博物館との連携報告

毎度ありがとうございます 出前授業です

内田 昌宏

#### ◆静岡県近代史研究会会報

〒422-8526静岡市駿河区谷田52-1 静岡県立大学国際関係学部 森山優研究室

年4000円 <https://shizuokakenkindaishi.wordpress.com>

◇548 2024.5 A4 4p

5月例会レジュメ 松野尾裕・見城悌治・落合功編『報徳思想とその  
展開—近世から近代へ—』合評会

静岡県史編さんの実情と発刊書冊について

山本 義彦

◇549 2024.6 A4 4p

6月例会レジュメ 『しずおかの女たち第11集』(2023年発行)を書き終

えて 特集：選択的夫婦別姓について	鍋倉 伸子
「戦中戦後、一生懸命生きて来たけれど…」	小畑 雪江
我が思い出の記	井口 義久
第1回「歴史フェス」参加記(1)	村瀬 隆彦

◆静岡県地域史研究会報

〒412-0043御殿場市新橋1891-1 厚地淳司気付 年4000円 2011年創刊

◇254 2024.5 B5 4p

『家忠日記』の「御家門様」とは誰か 本多 隆成  
 例会告要旨 2月例会

要旨『近世後期宿駅運営と幕府代官—東海道三島宿改革仕法を中心  
 に—』（岩田書院、2023年10月） 厚地 淳司

書評者の報告要旨

第一編 天保八年東海道三島宿改革仕法の概要と前提 平林 研治

第二編 三島宿取締役渡邊金瞭の宿方運営改革 三宅 真人

第三編 天保八年三島宿改革仕法の影響 南 隆哲

◆静岡県民俗学会会報

〒424-0053静岡市清水区洪川1-9-35 <http://web.thn.jp/s-folklore/>

◇191 2024.6 A4 4p

焼津行商人の森町での商売 川口 円子  
 令和5年度第2回例会報告 (川口記)

令和6年度総会・大会のご案内 講演要旨 小川直之氏「祭り・芸能  
 の継承意義と諸課題」、研究発表要旨 勝間田仁美氏「歌と踊りの  
 念仏行事—川柳のドンデンジャン・内野の火伏念仏—」

静岡の民俗語彙・方言短信

テングノオシッコ 報告者・渡邊好洋

ナオル、エンビキ 報告者・外立ますみ

◆静岡歴研会報 静岡県歴史研究会

〒422-8045静岡市駿河区西島363-55 篠原旭方 TEL054-286-8659

◇167 2024.6 B5 12p

令和6年2月4日(日) 第139回研究会 篠原・桜井両氏発表 篠原旭氏  
 の研究発表「竹千代は駿府で何を学んだか」/桜井明氏の講演「天  
 下人徳川家康の本城と墓所」

4月29日(月) 令和6年度総会

## 愛知県

### ◆あつた 熱田神宮宮庁

〒456-8585名古屋市熱田区神宮1-1-1 TEL052-671-4151

<https://www.atsutajingu.or.jp>

### ◇282 2024.4 A5 53p

南神池周辺の林苑整備の考え方(2)

原野 幹義

大正五年四月の大正天皇・貞明皇后両陛下ご参拝

—当神宮宝物「例祭関係古写真」より

細谷 公大

熱田神宮御礼遇に関する一考察(7)

飛岡 秀樹

北極星童軍團七〇周年記念派遣団に参加して

南部 将也

### ◆岩瀬文庫だより 西尾市岩瀬文庫

〒445-0847西尾市亀沢町480 TEL0563-56-2459 2004年創刊

<https://iwasebunko.jp>

### ◇80 2024.3 A4 4p

西尾市岩瀬文庫リニューアル20周年記念企画展「古典籍の博物館 岩瀬文庫のあゆみ」/次回企画展「昔むかしのSDGs」

新刊のご案内 『新編西尾市史研究』第9号/『新編西尾市史 別編1 美術工芸・建造物』好評頒布中

蔵書紹介 『素人包丁』(35-20) 浅野高造著 享和3(1803)年・文化2(1805)年・文政3(1820)年

尾崎士郎没60周年企画展「みんな大好き!士郎さん」

### ◆郷土文化 名古屋郷土文化会

〒466-0064名古屋市昭和区鶴舞1-1-155 名古屋市鶴舞中央図書館

TEL052-741-9822 年3000円 1946年創刊

### ◇241 (78-2) 2024.3 A5 150p 1500円

『武功夜話』偽書説の疑問

太田 輝夫

上藍天中の参学者と弟子たち

川口 高風

地租改正と当時の地域社会(上)

猿渡 伸司

名古屋城と鉄道一名古屋離宮と瀬戸電気鉄道 外堀線

松永 直幸

振甫プールと水泳文化—千種区の昭和史ものがたり(3)

大島 清和

翻刻 天保期津島の商売状況—永田市蔵の筆記から(3)

松井 雅文

大矢重治一代記に関する書画帖「家鑑」について

大矢 芳彦

見学研究会参加レポート 「徳川家康と本證寺」

松浦 由起

◆新編西尾市史研究

〒445-0847西尾市亀沢町480 西尾市岩瀬文庫内 西尾市教育委員会  
文化振興課 西尾市史編さん室 TEL0563-56-8711 2015年創刊

◇9 2024.3 A4 118p 700円

- 西尾市域の古代集落と土器編年 永井 邦仁  
西尾茶の地場産業への発展過程について 松井 直樹  
清水遺跡出土資料について—故紅村弘氏所蔵資料の紹介 鈴木とよ江  
江原町手嶋家文書の世界  
一戦国期手嶋党の動向と尾花村・高河原村の成立 小林輝久彦  
『尾三新聞』にみる幡豆郡立養蚕学校設立をめぐる紛擾(1) 山下廉太郎  
愛知県のノリ養殖の歴史(技術開発と生産)—西尾市の状況を中心に 阿知波英明  
佐久島の黒ボク土中の広域テフラ  
一佐久島に飛来した大陸起源の火山灰 吉村 暁夫  
令和四年度・五年度の主な活動記録  
『新編西尾市史 通史編1 原始・古代・中世』刊行記念行事

◆まつり通信 まつり同好会

〒458-0006名古屋市長区細口3-161 田中青樹方 TEL052-877-3497  
年5000円 1961年創刊

◇631 (64-3) 2024.5 A4 8p 600円

- 表紙写真の言葉 シャカシャカ祭り 奈良県橿原市上品寺町 須藤 功  
「田遊び」行事について—再興した鶴見神社の田祭りを中心に(1) 鈴木 通大  
南西諸島の輪踊り(サークルダンシング)10—沖縄本島(7)  
島エイサー 坂本 要  
新刊紹介 中村羊一郎著作集 第一巻 中世芸能と祭祀組織、第二巻  
風流と有東木盆踊 静岡新聞社

◆れきしみち 安城市歴史博物館

〒446-0026安城市安城町城堀30 TEL0566-77-6655 1991年創刊  
<https://www.ansyobunka.jp>

◇132 2024.4 A4 8p

- 企画展 安城の今昔5 「はたらく道具たち—職人の仕事道具」 文責・千田佑香  
収蔵品紹介 侍従長藤田尚徳と安城 文責・水谷令子  
安城歴史散策 風を感じて歴史を歩く(18) 番外編② 文責・片岡 晃

## 三重県

### ◆伊勢民俗 伊勢民俗学会（発売：岩田書院）

〒516-0003伊勢市下野町654-253 畑純子方 年3000円 1952年創刊

◇52 2024.3 A5 72p 1000円

表紙写真 伊勢志摩地方では正月に新しく付け替えた注連縄を年中そのまま付けておく。

伊勢市の箕獅子舞—地誌史料から見えること	山本 翔麻
調理に用いるネギの種類—三重県津市におけるアンケート調査から	中川真紀子
コラム 南伊勢町相賀浦の「エビダワラ」	畑 純子
地域社会における海藻漁の社会的意味—志摩市安乗のアラメ漁から	吉村 真衣
伊勢山田傘への招待—絵日傘の使い方	鈴木 俊宏
志摩の葬送事情—三重県志摩市磯部町坂崎の事例	岡野 翔
コラム 「笑門」のこと	津田 豊彦
資料紹介 伊予西条まつりと伊勢音頭	西海 賢二

### ◆皇學館史学 皇學館大学史学会

〒516-8555伊勢市神田久志本町1704 皇學館大学文学部国史学科研究室

TEL0596-22-6456 1986年創刊

<https://www.kogakkan-u.ac.jp/faculty/literature/kokushi.php>

◇39 2024.3 A5 271p

室町幕府管領斯波義将についての二、三の論点	森 茂暁
足利一門による軍事活動とその権限—建武年間の九州を事例に	岩井 寛斗
奈良時代の女性官僚・飯高諸高について	李 惠
近世における武士の神格化—池田恒興を対象に	西脇 潔希
近世における周防国の天神信仰—佐波郡防府天満宮を事例として	大田 菜月

史料紹介

天理市立柳本小学校蔵「柳本町郷土誌」 長谷川怜／小崎清礼／仲野里香  
香川志保子 欧州巡行日記(三)

一明治二十年五月二十三日より同十一月十九日 梅田 優歩

新刊紹介

林裕二『古代の政争と藤原四子』 遠藤 慶太  
窪寺恭秀『伊勢御師と宇治山田の学問』 小林 郁

## 滋 賀 県

### ◆湖国と文化 びわ湖芸術文化財団

〒520-0806大津市打出浜15-1 TEL077-523-7146 年2520円 1977年創刊

<https://www.biwako-arts.or.jp>

◇188 (48-3) 2024.7 B5 88p 600円

《特集 われも湖(うみ)の子》

プロローグ

編 集 室

湖底調査から

琵琶湖の底からコンニチハ!

熊谷 道夫

ビワオオウズムシから見つめる地球環境

佐藤瑠乃/佐藤爽音

水のつながり命のつながり

—「琵琶湖の食物連鎖」「世界農業遺産 琵琶湖システム」

編 集 室

環境学習船「うみのこ」

不惑を超えて「うみのこ」未来へ—その歩み

編 集 室

「うみのこ」での2日間—主体的にかかわる力を

編 集 室

「うみのこ」とわたし

田辺 祥子

ニカラグア版「UMINOKO」の挑戦

森川 真秀

びわ湖トラストの「湖の子」たちによる湖研究

トンボの宝庫。実験から分かるヤゴの特徴

河村 優

水鳥の渡りと琵琶湖の環境

田原瑠衣斗

絶滅危惧種イサザに想う

黒川 琉伊

外来植物プランクトンを追って

川井 彩音

湖からのメッセージ

生物多様性はなぜ重要か?

湯本 貴和

私も湖の漁師になってみた

駒井 健也

水の循環と命のつながり—アユの記録的な不漁から

桑原 雅之

謎の伊勢遺跡と倭国の形成(中) 近畿の弥生集落研究から読み解く

森岡 秀人

発掘!坂本城跡で石垣30メートル—裏話と今後

岡田 有矢

ぶらり近江はっけん伝(29) 大中

岸野 洋

湖北の花火陣屋

岡本 千秋

湖国のつながり—地域おこし協力隊探訪記(9)

山瀬鷹衛さん(長浜市)

文・写真 船崎桜

琵琶湖センス・オブ・ワンダー 湖と人が織りなす歴史と今(14)

地元の水環境を守り続けるには

文・楊平/写真・オザキマサキ

祭の美 祈りのかたち(22) 丹精した野菜で宝船 成長祈り笑顔の一

日(地藏盆の生御前=大津市坂本 和泉神社の辻地藏) 文・写真 川島朱実  
万葉の旅人(21) 琵琶湖の波風 淡海の海波恐みと風守り年はや経な

む漕ぐとはなしに(巻7-1390 作者不明) 文と曲・林博通/画・鈴木靖将  
食まなび館へようこそ!(5) 今号のメイン料理 ふなずしの握り寿司

堀越昌子/肥田文子/中村紀子/鳥本登志子/写真・浅井千穂  
インタビュー 湖と生きる 「2024本屋大賞」作家 宮島未奈さん

文・三宅貴江/写真・谷本吉有基

歴史の玉手箱(32) ウシガエルを食べた日 山口 一樹

近江の懐(29) 中山道醒井宿 加藤賢治/石川亮

湖国と文化・地域記者レポート 北から南から

余呉の羽衣伝説と画家・三橋節子 大谷 隆

残糸・残布に新たな命を吹き込んで 泉 千恵

奥伊吹・曲谷、足元から広がる豊かな世界 大藤 寛子

#### ◆戦国史と人 女風林火山

戦国史と人を学ぶ会/武田松姫・信玄妻子探究会/近江戦国史探究会

〒520-0528大津市和辻高城289-11 首藤義之方 年1400円 1987年創刊

◇73 2024.7 B5 78p

《特集 佐々貴氏郷の親族と生涯の謎》

佐々貴氏郷の親族と生涯

一将軍徳川綱吉に却下された佐々貴六角家再興の願い 首藤 義之

コラム 六角正統近江源義綱墓の謎

一義綱は佐々貴義綱の弟秀綱の息子か 編集室

京極高吉に兄通がいたのか

一新史料『沙々貴大系圖』京極家項を読む 首藤 義之

『江源武鑑』の編纂に佐々貴氏郷の弟義廣が関与していたのか 首藤 義之

#### ◆彦根城博物館だより

〒522-0061彦根市金亀町1-1 TEL0749-22-6100 1988年創刊

<http://www.hikone-castle-museum.jp>

◇145 2024.6 A4 6p

企画展 青根九江一京で花開いた彦根の文人画家

花鳥図 青根九江筆 個人蔵

展示案内 テーマ展 茶壺—武家の美意識、企画展 青根九江一京で

花開いた彦根の文人画家、テーマ展 井伊の赤備え—勇猛なる軍団、

企画展 井伊直興と永源寺南嶺慧詢

コラム 新収蔵資料 日下部鳴鶴直筆書簡

研究余録 金亀玉鶴 「暮物伺」—彦根藩の人事考課制度

柴崎 謙信

## 京 都 府

### ◆芸能史研究 芸能史研究会

〒602-0855京都市上京区河原町荒神口下ル上生洲町221 キトウビル303 TEL075-251-2371 年6000円 1963年創刊 <http://www.5b.biglobe.ne.jp/~geinoshi/>

◇244 2024.1 B5 72p 1800円

特集・能楽の家元制を考える

能楽における家元制の形成と展開

宮本 圭造

近世の能楽における家元制の浸透

—喜多流における教授システムの整備について

米田 真理

明治能楽における家元制度の形成

—パトロンの役割と共演の共同体を中心に

横山 太郎

書評 条汐里著『中近世語り物文芸の研究—信仰・絵画・地域伝承』阪口 弘之  
芸能史の書棚 阪口弘之編『奥浄瑠璃集 [続] 翻刻と解題と論考』川端 咲子  
紹介

報告書『島根県古代出雲文化センター研究論集第二九集 出雲神楽

の研究』、図録『企画展 出雲神楽』

(大和守)

野村美術館学芸部編『野村得庵茶会記集成』

(Y・O)

乙女文楽研究会編『乙女文楽—開花から現在まで』

(S・K)

例会発表要旨

近代浄土宗と法然上人劇—『法然上人恵月影』にいたる過程

2023年9月例会

斉藤 利彦

船楽と竜頭鷓首について 2023年10月例会

平間 充子

絵画史料に見るお国かぶきと遊女かぶきの芸能の違い

2023年11月例会

舘野まりみ

### ◆史迹と美術 史迹美術同致会

〒602-8342京都市上京区仁和寺街道千本西入五番町158-2 コスモトゥデイ708  
丸山貞方 TEL075-462-4292 年8000円 1930年創刊  
<https://www.shibikai1930.com>

◇944 (94-4) 2024.4 A5 38p 1018円

日本庭園・石造美術あれこれ(11)

「近代数寄者・高谷宗範の茶道観と庭園観」(上)

尼崎 博正

藤原道長と高野山一逆修の本来の意味  
無縫塔について

第1116回例会 左京区上高野・八瀬

第1117回例会 大阪平野郷環濠集落跡と安中新田会所跡

北陸新幹線延伸と京の庭

新刊紹介 西村大造編・著『石工芸の伝統と美—京都・西村石灯呂店  
の仕事』

木下 浩良

品角阿止美

丸山 貞

矢ヶ崎善太郎

告 天 子

丸山 貞

## 大 阪 府

### ◆泉佐野の歴史と今を知る会会報

〒598-0004泉佐野市市場南1-3-43 北山理 TEL072-462-4936／〒599-0232阪南市  
箱作2880-24 樋野修司 TEL072-476-1073 年1200円

◇436 2024.4 B5 12p

「山直神社」由緒書を巡る三つの迷宮—山直郷内畑村の行方(8) 池田 雅治

史料紹介 山本家文書 幕末の情報収集(8) 三 他の写など(続) 井田 寿邦

史料紹介 泉州の寺社(33) 佐野村九社関係文書 藤田家文書6の5の1

御神田高下ル寄附 元禄一二(一六九九)年

◇437 2024.5 B5 4p \*終刊

史料紹介 山本家文書 幕末の情報収集(9) 三 他の写など(続) 井田 寿邦

事務局からのお願い 閉会・「会報」発行停止／訃報 井田寿邦さん



\*同会は1988年7月の発足以来、36年間にわたり調査、研究、町づくりに取り組み、会員の調査、研究成果を紹介と、会員間の情報交流を図る目的で月刊で会報を発行してきた。しかしながら近年会運営を担う事務局員の高齢化で死去が相次ぎ、中でも、創立当初からの中心メンバーであった井田寿邦氏の病状が悪化した

ため、この6月をもって会報の発行を止め、会を閉じることにしていた。ところが井田氏が5月に逝去されたことで、編集中の本号を未完成のまま発行し、終止符を打った。

井田氏と会員諸氏の無念さは量りて余りある。

#### ◆近畿文化 近畿文化会

〒543-0001大阪市天王寺区上本町6-5-13 上本町YUFURA 7階

TEL06-6775-3686 年2200円 <https://www.kintetsu-g-hd.co.jp/culture/bunka/>

◇894 2024.5 A4 8p 300円

唐招提寺のみほとけ—国宝仏像を中心に

関根 俊一

奈良町北部の寺院史点描

服部 光真

◇895 2024.6 A4 8p 300円

三輪山の紡ぐ歌と物語と

岡田 高志

倭姫命の伊勢巡幸(7)—伊蘇宮から瀧原宮へ

岡田 登

#### ◆左海民俗 堺民俗会

〒593-8302堺市西区北条町2丁10-11 佐原浩二方 TEL072-275-8588 年3000円

<https://ameblo.jp/skmz2014>

◇173 2024.6 B5 8p

堺の町のなりたち(6) 堺旧市内の坂と丘

川村 淳一

下谷佐吉さん遺稿(2) 氷室の郷土・福住

下谷 佐吉

2023年10月例会報告 古市古墳群散策

担当・佐原浩二

古市古墳群を訪ねる

泉谷 博幸

2023年11月例会報告 大阪城周辺の地形と歴史

担当・佐原浩二

大阪城をちょっと違う目で見てみよう

芝川 明義

2023年12月例会報告 近つ飛鳥博物館を訪ねる

担当・一色若夫

2024年1月例会報告 大阪七福神巡り(2)

担当・佐原浩二／講師 山内啓子・許和平

2024年2月例会報告 堺市内の三好一族遺跡

担当・光田三生

#### ◆城だより 日本古城友の会

〒577-0044大阪市西成区玉出中2-11-28 平川大輔方 TEL06-6652-4511

<http://www.kojyo-tomonokai.com>

◇665 2024.5 B5 24p

伊勢 霧山城・北畠氏城館を訪ねる(6月・第728回) 今回の見どころ

4月・第726回例会報告 訪問先：近江 小谷城

- 担当幹事：小川實・藤岡秀典 報告・藤岡秀典  
 会員通信 香川県の引田城と勝賀城を訪ねて 宮島 茂  
 別冊(B4 6頁) 第727回 近江 歙喜寺城・歙喜寺山城を訪ねる  
 担当幹事：小川實・下岡力  
 ◇666 2024.6 B5 22p  
 但馬有子山城・出石城を訪ねる(7月・第729回例会) 今回の見どころ  
 5月・第727回例会報告 探訪先：近江 歙喜寺城・歙喜寺山城  
 担当幹事：小川實・下岡力 報告・下岡 力  
 会員通信 長崎県の真崎城跡を訪ねて 坂本 昇  
 別冊(B4 6頁) 第728回 伊勢 霧山城(北曲輪、南曲輪)・北畠氏  
 館詰城を訪ねる 担当幹事：坂本昇・高菅純子

◆つどい 豊中歴史同好会

- 〒560-0054豊中市桜の町4-6-27-208 小川滋方 月1000円  
 1988年創刊 <http://toyoreki.way-nifty.com>  
 ◇426 2024.4 B5 14p  
 大阪府門真市宮野町「伝茨田堤址」は茨田堤址か  
 一茨田堤比定地の考察に関連して 上遠野浩一  
 神戸の古墳をめぐる 久米 健児  
 ◇427 2024.5 B5 12p  
 武烈・顕宗天皇の虚像と実像 塚口 義信  
 ◇428 2024.6 B5 18p  
 顕宗陵・武烈陵研究の現状と課題  
 一狐井稻荷古墳採集子持勾玉の意味するもの 塚口 義信  
 第三十六回定期総会報告

◆ヒストリア 大阪歴史学会

- 〒657-8501神戸市灘区六甲台町1-1 神戸大学大学院人文学研究科  
 古市晃研究室気付 1951年創刊 <http://www.historia-osaka.on.arena.ne.jp>  
 ◇302 2024.4 A5 115p  
 日本中世訴訟制度史における室町幕府寄合方の意義  
 一但馬国雀岐荘相論の検討を中心に 亀田 俊和  
 室町幕府奉行人と応仁・文明の乱 北山 航  
 太平洋戦争前半期における日本の戦争指導と船舶問題  
 一船舶の配分をめぐる問題を中心に 梶尾 良太  
 近代における旧藩主家の育英事業

一旧郡山藩主柳沢保恵と柳沢統計研究所	中岡満里奈
地域の歴史を守り伝える 大住隼人舞の由来と継承について	石坂 清
新刊紹介 村上隆『文化財の未来図〈ものづくり文化〉をつなぐ』	古閑謙太郎
報告 塚穴古墳(埴生岡上墓)の発掘調査見学報告	相馬 勇介
◇304 2024.6 A5 131p	
「告朔解」の再検討―職司系統の写経機関作成の行事報告を事例に	山上憲太郎
近世三井寺と関守由緒の集団	西川 雄也
軍隊の事故死者への対応と「戦闘ニ準スヘキ公務」	
―第六潜水艇事故を事例に	木村 美幸
トーカー移行期の技術会社創成	藪内 達朗
わたしたちの文化財 石清水八幡宮境内 護国寺跡	山崎 有生
2024年度大会報告要旨	
考古・部会報告	
土器からみた中・南河内の地域間関係	相馬 勇介
サヌカイト製石器の生産・流通・消費	
―中・南河内地域の集落間関係	園原 悠斗
古代・部会報告 日本古代における皇后の地位と権能	浅野 咲
中世・部会報告	
南北朝の内乱と軍事編制	永山 愛
戦国期室町幕府と京都の寺社	佐藤 稜介
近世・部会報告	
近世前期における儒者の門人集団―幕府儒者林家を事例として	山下 耕平
開国全夜の朝廷と皇位継承	
―皇女女・親王家・奥向をめぐる動向を中心に	佐藤 一郎
近代・部会報告	
明治二〇年代初頭における〈地方団結〉運動の展開と政党構想	
―東北会をめぐる政治的動向を中心に	出水清之助
一九二〇年代における陸軍と政一軍協調体制の形成	
―統帥権独立と政治の狭間	山口 一樹
報 告	
大阪市文化財協会の解散	大阪歴史学会(編集委員長 岸本直文)
日本学術会議を巡る日本歴史学協会の声明への賛同について(2)	
	大阪歴史学会(企画委員長 北山峰生)
菅田御廟山古墳(現応神天皇陵)の立入り観察	北山 峰生
「第五八回「建国記念の日」不承認二・一―大阪府民の集い」につ	
いて	江坂 正太

◆枚方市史年報 枚方市教育委員会文化財課市史資料室

〒573-1159枚方市車塚2-1-1 枚方市立中央図書館内 TEL050-7105-8154

1996年創刊

◇26 2024.3 B5 52p

田中家文書「諸国鑄物師書上」(下)

橋本 貴明

史料紹介

南吉一家文書中の日露戦争中隊史料について

飯塚 一幸

中西家文書「祖師聖人并御代々御旧跡二十四輩参詣」

吉川 邦子

◆昔話 研究と資料 日本昔話学会

〒558-8585大阪市住吉区杉本3-3-137 大阪公立大学大学院文学研究科

高島葉子研究室

◇51 2024.3 A5 169p

巻頭のことば 北陸から昔話研究を見つめなおす

松本 孝三

韓国の昔話にみる狐伝承—日本と比較の視点から

金 賛會

「聴き耳」の行方—令和語り手論

野村 敬子

松谷みよ子の伝承を素材とした創作文学について

—「ちょうふく山の山姥」から『ちびっこ太郎』へ

来栖 史江

「ゆうかんな娘ハムダ」—イラクの昔話における〈姥皮〉

片桐 早織

日本における「ヘンゼルとグレーテル」の挿絵について

小泉 直美

シンポジウム 昔話と食べ物

日本の昔話における食べ物

関根 綾子

グリム童話のなかの飲食物

野口 芳子

恋人たちの食卓 『アラビアン・ナイト』にみる饗宴

康 君子

昔話横丁

「高槻物語」を語り継ぐ

南 数美

昔ばなしは地域が育てる文化の宝物

古賀美佐子

「西アフリカおはなし村」から「地球おはなし村」へ

佐藤ミチ子

資料 沖縄県(旧)平良市の昔話(1)

芳沢あきこ／松本孝三

兵 庫 県

◆家系研究 家系研究協議会

〒675-0101加古川市平岡町新在家1745-203 馬原浩一方 TEL079-424-0921

年5000円 1981年創刊 <https://www.kakenkyou.org>

◇77 2024.5 B5 101p 1500円

紀州湯浅氏の一族と祖系  
 苗字と地名の関係について(下)  
 清和源氏上野里見氏の系譜に迫る  
 楠木氏後裔・慈光寺  
 越前国の平泉寺の恵秀  
 墓を訪ねて三千基(4) 山口県の大名墓  
 薩摩刀匠 浪平正国一千年秘話 刀鍛冶の里(13)  
 表紙家紋「丸に五本骨扇に三つ巴」

宝賀 寿男  
 安原 繁俊  
 真野 信治  
 岡田 有史  
 岡田 有史  
 馬場 浩一  
 浪平 博司

◆家系研究協議会会報

〒675-0101加古川市平岡町新在家1745-203 馬原浩一方 TEL079-424-0921  
 年5000円 2002年創刊 <https://www.kakenkyou.org>

◇88 2024.5 B5 8p

2531年佐藤さん問題??

馬原 浩一

家系研究協議会 令和5年度 冬の例会報告 『善法寺了清の大隅国  
 下向について』 平山旦清氏(本会会員)  
 「写録宝夢集」web版のサービス終了

◆史料ネット NEWS LETTER 歴史資料ネットワーク

〒657-8501神戸市灘区六甲台町1-1 神戸大学文学部内 TEL078-803-5565  
 年1000円 <https://siryo-net.jp>

◇99 2024.4 A4 8p

《2024年能登半島地震特集》

2024年能登半島地震特集にあたって

歴史資料ネットワーク事務局

能登半島地震と「いしかわ史料ネット」の設立

上田 長生



羽咋市の文化財レスキューのとりくみ  
高岡市立博物館の文化財レスキュー  
富山県氷見市における文化財レスキューの取り組み  
能登半島地震と新潟歴史資料救済ネットワーク  
\*後記参照。

中野 知幸  
仁ヶ竹亮介  
廣瀬 直樹  
原 直史

#### ◆西宮文化協会会報

〒662-0974西宮市社家町1-17 西宮神社内 TEL0798-33-0321

<https://nishinomiya-ebisu.com/bunkyo/>

◇674 2024.5 B5 8p

六月行事 見学会 西宮市大谷記念美術館「没後六十年 洋画家・辻  
愛造—風景・風俗・挿絵—」展鑑賞会

西宮の歳時記(2)

西尾 嘉美

全国都道府県最高峰

木村 能彰

十一代目豊竹若太夫襲名披露

河内 厚郎

◇675 2024.6 B5 8p

七月行事 文化講演会「西宮」保存箱・玉手箱 思い出話の集い六  
「西宮市と建築物百年—風景写真から—」西宮市総務課公文書・歴  
史資料チーム 豊田みか氏

西宮の歳時記(3)

西尾 嘉美

三月行事 見学会 阪神甲子園球場&甲子園歴史館見学会

江崎健一郎

西宮あんど紀行(2)

小野 篁

訃報 当会副会長 武地秀実(本名 小笠原秀実)氏

事務局

#### ◆歴史と神戸 神戸史学会

〒657-0845神戸市灘区岩屋中町3-1-4 田中印刷出版内 TEL078-871-0551

年3000円 1962年創刊

◇364 (63-3) 2024.6 A5 49p 600円

特集 史料で読む中世ひょうご史

ひょうご史こぼれ話

新井弥三郎正次について—三田市藍本の寺社装飾彫物師  
伊和神社文書 一宮諒并神官・社僧拘持田畠注文案を読む  
応仁の乱時播磨国中村三郎の取次活動

柴田 昭彦

垣内 章

一朝倉孝景東軍への寝返り工作をめぐる

中村 勇造

治承三年の政変と安倍泰親の予言

田畑 豪一

河西郡の河川と「慶長播磨国絵図」の制作過程

中村 和男

第2回神戸史学会奨励賞最優秀賞に廣田晋也さん

新聞地域版を読む 神戸新聞の文化財記事(2015年6月6日～6月16日)

大國正美／有吉康徳

## 和歌山県

### ◆紀州古城館情報 和歌山城郭調査研究会会報

〒641-0052和歌山市東高松3-6-16 白石博則方 TEL073-445-0122

◇381 2024.4 B5 8p

新宮城跡の石垣の保全・整備 新宮市義会でも取り上げられました  
「天主閣を再建しよう」ではなく「石垣の美しさを保全・整備しよう！」へ

話題提供 FM「はしもと(81.6Mhz)」で和歌山のお城の話  
会員の吉田亘さん

那智勝浦町の下里城跡北東遺構(仮称下里城1・2遺構)について 白石 博則  
報告 本土決戦用のトーチカ発見 森崎順臣氏 (白石)

### ◆熊野情報 熊野歴史研究会

〒647-0011新宮市下本町2-2-1 新宮市教育委員会文化振興課 山本殖生  
TEL0735-23-3368 年3000円

◇232 2024.5 B5 2p

総会と研修講演会は6月30日(日)／東大人文熊野フォーラム in 新宮  
5月25日(土)／国際熊野学会大会 6月1日(土)／令和6年度 歴史  
探訪スクール／熊野り歴史を読む会／『変動帯の文化地質学』京都  
大学学術出版会／事務局より

### ◆国際熊野学会会報

〒647-0011新宮市下本町2-2-1 新宮市教育委員会文化振興課  
TEL0735-23-3368 年3000円 2005年創刊

◇41 2024.5 A4 4p

西国第一の難所・八鬼山越え  
一世界遺産登録二〇周年記念大会に向けて 内山裕紀子

### ◆和歌山地方史研究 和歌山地方史研究会

〒649-6258岩出市山980-2-1312 江本英雄方 年3000円 1980年創刊  
<http://wakayamachihoushi.blog.fc2.com>

◇86 2024.2 A5 58p

紀三井寺の創建について

寺西 貞弘

河村瑞賢と紀州藩南伊勢地域の人々—西廻海運事業を対象として

糸川 風太

明治期和歌山県紀北地域における俳壇の動向について

—紀州獅子門流の動向を中心に

小田 直寿

動向 2023年度和歌山県内展覧会情報(追録)

彙報 和歌山地方史研究会の活動

## 島根県

### ◆大社の史話 大社史話会

〒699-0751出雲市大社町杵築西2695-1 稲根克也方 TEL0853-53-4966

年2500円 1974年創刊

◇218 2024.4 B5 36p

大阪から大社へやって来た西六国民学校の子どもの体験

須田 英典

中学生出雲弁川柳(令和五年度)

大社中学校

私の出雲大社探訪(5) 神楽殿を訪れて

木村 進

重要文化財 日御碕神社 神の宮(上の宮)鳥居(西)保存修理事業につ

いて

出雲市文化財課(文責・吾郷誠)

紙上「古文書講座」第8回(中級編④)

出雲市文化財課(文責・赤木薫)

春季企画展「科学の力で解き明かす出雲の歴史」

出雲弥生の森博物館(文責・坂本豊治)

読者コーナー

本誌二一七号を読んで

岡垣 克則

ご案内 いづも財団公開講座の開催!

公益財団法人いづも財団

お知らせ 皆様の投稿をお待ちしています

編集部

令和5年(2023)10月~12月出雲市大社町年表

編集部

## 岡山県

### ◆岡山地方史研究 岡山地方史研究会

〒700-0013岡山市北区伊福町2-16-9 ノートルダム清心女子大学文学部

久野研究室気付・小野功裕 TEL086-252-2482 年1500円 1986年創刊

<http://historyokayama.s1009.xrea.com>

◇162 2024.6 B5 36p

史料紹介 小橋屋長左衛門の吉岡銅山経営

安国 良一

二〇二三年一二月例会 徳永誓子著『憑霊信仰と日本中世社会』合評会  
書評と紹介

徳永誓子著『憑霊信仰と日本中世社会』（岡山大学文学部叢書1）苅米 一志  
コメント 修験道史研究の書としての『憑霊信仰と日本中世社会』長谷川賢二  
リプライ 憑霊信仰研究の展望—合評会を受けて 徳永 誓子

二〇二三年一〇月例会（岡山県博テーマ展「正宗敦夫と正宗文庫」見学会）

岡山県立博物館テーマ展「正宗敦夫と正宗文庫」開催経緯と正宗文  
庫について 平田 良行

参加記 岡山地方史研究会二〇二三年一〇月例会（岡山県博テーマ展

「正宗敦夫と正宗文庫」見学会）に参加記して 古市 志織

読書日記 小川幸司・成田龍一編著『シリーズ歴史総合を学ぶ①～③』

古市 秀治

#### ◆岡山藩研究 岡山藩研究会

〒169-8051東京都新宿区西早稲田1-6-1 早稲田大学教育学部 大橋研究室気付

<http://okayamahanwaseda.seesaa.net/?1465280813/>

◇94 2024.6 B5 8p

〈第51回全体会の記録〉

報告要旨 松平定信と「風聞」—寛政改革期の目付についての一考察 福留 真紀

参加記

福留真紀「松平定信と「風聞」—寛政改革期の目付についての一考  
察」参加記

深谷 克己

福留報告を聞いて

泉 正人

#### ◆岡山民俗学会会報

〒700-0089岡山市北区津島本町16-5-3 小嶋博巳方 年4000円

<http://okayamaminzokugakkai.web.fc2.com>

◇233 2024.5 B5 10p

大多府島の題目・鬼子母神石碑

中務 睦美

岡山県立博物館令和6年度民俗分野展示「室戸台風の爪あと」

木下 浩

研究発表要旨

2月例会

山鳥城の伝承について

田中 愛弓

空海『聳髻指帰』執筆の時代背景—平安初期仏教の実態

曾根 正人

2024年度研究発表大会

輔祭の話

藤田 良樹

芝居小屋の求心力と発信力—高知県香南市赤岡における調査報告

永原 順子

民藝運動と倉敷

加原奈穂子

備中杜氏の勤務先—備中杜氏はどこで酒を造ったか

木下 浩

新刊紹介 原田信之『岡山県新見の伝説—玄賓僧都・後醍醐天皇・金  
売吉次・人柱』

平松 典晃

学会記事 2024年度総会報告

別冊(3頁) 受贈図書・雑誌 目次抄録(2024年1月~4月受贈分)

広島県

◆備陽史探訪 備陽史探訪の会

〒720-0824福山市多治米町5-19-8 TEL084-953-6157 <https://bingo-history.net>

◇235 2024.5 A4 14p

謎の武将 宮近門民部左衛門

田口 義之

調査報告 中世石造物の調査報告

文責・篠原芳秀

研究レポート 備後南部における古墳分布の変遷と茨城 I

瀬良 泰三

近世福山の歴史講座(51) 阿部藩(2) 初代正邦の時代—その二

高木 康彦

小林悠一のかんたん古文書講座(12)

備陽史探訪の会NEWS 「備陽史探訪の会 福山古墳ロード再整備へ

3 コース統合 周遊ルート新設」 「山陽新聞」2024年(令和6年)3  
月16日(土)

◆広島民俗 広島民俗学会

〒731-0211広島市安佐北区三入1-26-24 岡崎環方 TEL082-818-3497

1974年創刊 <http://fs-hiroshima.net>

◇100 2024.3 A5 325p

《広島民俗第100号記念誌》

一〇〇号の発刊にあたり

岡崎 環

民俗学と社会科教育

石川 律子

広島の「盆灯籠」「雛飾り」と中国の彩陶文化

松崎 哲

新出史料 御供船の艦飾りについて

中道 豪一

広島のカタクチイワシとイワシ漁について

新長 明美

広島県西部の狛犬文化

佐古 憲作

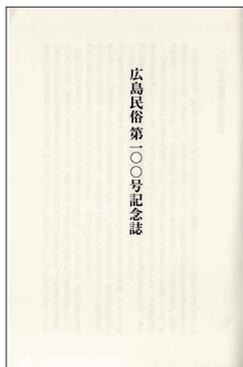
ある「少国民」の記憶

藤井 昭

尾道吉和漁業聞き書き

高木 泰伸

県北の農家の家屋と暮らしの変化	原田 隆雄
府中町道隆寺新四国八十八カ所をめぐって	菅 信博
尾道…セピア色の記憶	林 良司
サンパチ豪雪と「語り」「聞き取り」	佐田尾信作
学校資料の可能性	八幡 浩二
「民俗」は私の生涯学習	尾多賀晴悟
民俗学徒 山田次三と郷土学	正本真理子
映画『中国山地・牛と人風土記』への道のり	青原さとし
資料編 会報掲載文リスト(創刊号～第99号)／研究会のあゆみ 研究 会のあゆみ(第23号(1985.5)より)／広島民俗学会賞受賞者 広島民 俗学会賞受賞者一覧／受贈図書／彙報	



\*広島民俗学会は1973年9月の創立で50年を経過した。創立は宮本常一を監修者として1968年に編集企画が始まった『広島県史 民俗編』が契機になった。この間、会員の調査、研究を発表する場としての会誌は毎年2号を発行し、この度、記念すべき100号となった。

会長 岡崎環氏の「100号の発刊にあたり」によれば、この50年間の生活様式の変化は、自然環境や社会環境、衣食住の生活環境全般にわたって激変しており、近年は国内各地から、広島県の盆行事や郷土食についての問い合わせが来るようになったという。それは、自然災害やパンデミックなどで、土地に根ざす民俗芸能や民俗行事が、地域に暮らす人々を結びつけるアイデンティティの一つになっていることを気づかせてくれ、改めて民俗文化が見直され、その価値が再認識されているからであると指摘する。

大いに共感する。同会もご多分に漏れず会員の高齢化と減少で活動が苦しくなっているとのことであるが、是非次の50年を視野に研究、調査を継続して欲しい。

◆わが町三原 みはら歴史と観光の会

〒723-0051三原市宮浦6-9-32 鈴木方 年3600円 FAX0848-63-9932

◇398 2024.5 B5 12p

登録文化財を堪能 文化財の住宅前で集合写真 眞田家の表門前にて

2024.4.07 撮影：鈴木健次(宮浦)

今月の各地 戦火に散った中大出身の特攻隊員の軌跡を調査 宮原 幸司

春のハイキングを終えて 東町方面巡り 鈴木 健次

◇399 2024.6 B5 12p

軽やかな鯉のぼり 青空に映える鯉のぼり 沼田東コミセン北方の田

圃にて 2024.5.09 撮影：鈴木健次(宮浦)

今月の各地 僕イノシシの猪助です No.3 行長 啓三

令和6年 レキカン春のハイキングの感想 4月7日 東町方面巡り 吉岡 利文

春の眞田邸を訪ねて 金光 康子

忘れえぬチョッサ(山車・太鼓台) 上田 茂

別冊(20頁) 山口覚「工都三原市における歴史的遺産のオーセンシテ

ィ～三原城跡・城下町をいかに保存し提示するか～」(『関西学院史

学』第51号、2024年3月) 抜刷

## 徳島県

◆徳島県立博物館ニュース

〒770-8070徳島市八万町向寺山 徳島県文化の森総合公園 TEL088-668-3636

1990年創刊 <https://museum.bunmori.tokushima.jp>

◇133 2023.12 A4 8p

草原とともに去ったチョウ チャマダラセセリ 外村 俊輔

Culture Club 近代徳島市の交通と風景 小林 篤正

自然史コレクション とくしまのチョウ

情報BOX 伊勢田川の生息するクロコハゼについて 井藤 大樹

収蔵品紹介 空海の修行地「大滝岳」はどこ？

—阿波国大滝寺所領注進状 長谷川賢二

レファレンスQ&A 昔から人形頭のからくりには金属が使われてい

たのですか？ 庄武 憲子

◇134 2024.3 A4 8p

企画展 海からどんぶらこー知られざる漂着物の世界 茨木 靖

Culture Club 身近な場所にひそむ小蛾類たち 外村 俊輔

企画展 海からどんぶらこー知られざる漂着物の世界

情報BOX かつて日本にしたワニ

小布施彰太

館蔵品紹介 昔、家にあった道具一踏み台

磯本 宏紀

レファレンスQ&A 家に出るクモの名前は何というのでしょうか？

鈴木 佑弥

## 愛媛県

### ◆遺跡 遺跡発行会

〒791-2101伊予郡砥部町高尾田1108-3 そがめ塾気付 TEL089-905-2925

1968年創刊

◇56 2024.3 B5 188p 1800円

特集 愛媛の出土銭貨

道後平野西部出土の銭貨

山之内志郎

道後平野南部の出土銭貨

十亀 幸雄

愛媛県南予地方出土の銭貨について

清水 真一

愛媛県銭貨出土遺跡一覧表

遺跡発行会

共同研究 松山市打越古墳の墳丘測量報告

遺跡発行会

報告

唐子台遺跡群の鏡(2) 雉之尾2・3号墳の鏡

名本二六雄

松山市東予の鏡

名本二六雄

松山市の主要古墳(道後平野東部編)

正岡 睦夫

近世後期～幕末期における松山城三之丸跡出土の座天神型土人形に

関する基礎的考察

幸泉満夫／前田友香

道後平野海岸部と周辺島嶼部の近世花崗岩石切場(2)

十亀 幸雄

江戸後期～明治時代の西宇和郡真穴村の瓦産業

清水 真一

境界神—四国山地二井部の鬼の金剛

十亀 幸雄

久万高原町霧峰の棟上げ破魔矢

遠部慎／十亀幸雄

会所だより

例会・会務報告(2023年4月～2024年3月)

山之内志郎

『いせきニュースレター』第174号～第185号目次

### ◆いせき ニュースレター 遺跡発行会

〒791-2101伊予郡砥部町高尾田1108-3 そがめ塾気付 TEL089-905-2925

◇184 2024.2 A4 12p

東予の鏡(補遺) 東予市の鏡

名本二六雄

道後平野の出土銭貨の一例—東温市北野近世墓

十亀 幸雄

◇185 2024.3 A4 8p

東予の鏡(補遺2) 東予市の鏡

名本二六雄

フランス南部ニームのローマ時代円筒分水

—日本の円筒分水の起源についての一例

十亀 幸雄

◇186 2024.4 A4 12p

速報 松山市宮ヶ谷古墳墳丘測量写真速報

今治市国分国分古墳出土の三角縁神獸鏡(補遺)

国分古墳出土の四獸鏡

名本二六雄

高鴨神社サムハラ塔—習俗化した法華信仰

十亀 幸雄

### ◆伊予史談 伊予史談会

〒790-0007松山市堀之内 愛媛県立図書館内 1915年創刊

◇413 2024.4 A5 51p 750円

江戸時代前期の大洲城に関する一考察—城絵図の描写比較から

白石 尚寛

小特集 文書調査の最前線から

「本福寺文書」の調査と再検討

磯川いづみ

今治城所蔵久松平家史料の文書群構造

政次加奈子

史料紹介 梅木家文書「大野山城守任補状」

古川 周平

遺稿 私の歴史研究の歩み

高須賀康生

新刊紹介 川岡勉著『戦国期守護権力の研究』、小林公治編『伝世洋剣 水口レイピアの謎に挑む』、宇和島市立伊達博物館編集・発行『対決!大坂の陣—宇和島伊達家の誕生と真田家との絆—』、真田宝物館編『真田家と宇和島藩伊達家、愛媛県歴史文化博物館編『瀬戸内海ツーリズム』

郷土その日その日 自令和5年11月至令和6年1月

編集部(柚山俊夫)

例会記事 第1292回 近代愛媛の博覧会 土居聡明氏、和銅本『伊予国風土記(仮)』編纂責任者と編纂期の考察—原本『万葉集』巻一・5・6左註一書と巻三・322・323赤人歌から 竹田美喜氏/第1293回 城大工 坂本家の足跡 野本健氏、松山藩士山本忠彰を検証する—幕末維新の藩政、陸軍、裁判官 二神將氏/第1294回 明・朝・日講話における毛利氏の外交政策 中原寛貴氏、三津浜煉瓦の変遷 吉村久美子氏

### ◆砥部古文書の会 ニュースレター

〒791-2101伊予郡砥部町高尾田1108-3 そがめ塾気付 TEL089-905-2925

2022年創刊

◇11 2023.12 A4 8p

10月例会風景 砥部町中央公民館会議室 2023.10.18

史跡探訪「社寺古跡山川由来書を歩く」参加記

参加記 好奇心くすぐられ 森永とめ子

参加記 ゆったりした時間を 笹山 準一

参加記 史跡を語り継ぎ 笹山 明子

麻生村社寺古跡山川由来書を歩く 太田由美子

10月号の解答(宮本先生に拠る)／12月例会参加者の皆さんへ 書き写して学ぶ古文書(8)

12月例会砥部古文書講座「麻生庄 原町区口傳并舊記覚書」第1回 宮本 直美

10月例会報告

明治20年銘住吉神社陶器製造元寄附石 十亀 幸雄

◇12 2024.2 A4 8p

12月例会風景 砥部町中央公民館会議室 2023.12.21／12月例会報告

会員の近況報告

泉本明英さんの台湾鶯歌(いんぐう)訪問(聞き取り筆記) (そがめ記)

12月号の解答(宮本先生に拠る)／2月例会参加者の皆さんへ 柚山式  
書き写して学ぶ古文書(9)

2月例会砥部古文書講座「麻生庄 原町区口傳并舊記覚書」第2回

報告 宮本常一と愛媛 高木 泰伸

報告 砥部の庄屋跡探訪第4回 坪内家川登村庄屋跡 十亀 幸雄

◇13 2024.4 A4 8p

2月例会風景 砥部町中央公民館会議室 2024.2.21／2月例会報告

2月号の解答(宮本先生に拠る)

10月・12月例会記事 古文書とモノ資料・写真資料 高木 泰伸

新会員自己紹介 三木伸司さん(みき・しんじ)／2024年度の砥部古文書の会例会などの予定日(案)

砥部史跡探訪 六郎鉾山探訪記 大西 朋子

関連して 十亀 幸雄

佐 賀 県

◆末盧国 松浦史談会

〒847-0823唐津市旭が丘6-5 TEL0955-73-3549 年2000円 1962年創刊

◇237 2024.3 B5 24p

「唐津の近世文書教室」古文書史料紹介『以書付奉歎上候事(峯家文書

No.二五四〇)』  
 鶯宿雑記の寺沢家臣書状  
 隠れキリシタンと馬渡島大火106年から一馬渡島の歴史と文化  
 古文書史料の紹介 相知峯家文書・373(上)  
 菜畑遺跡国指定四〇周年記念菜畑ゼミナール特別講演会報告  
 舞鶴公園内の金刀比羅宮と大聖院について  
 唐津・発掘・発見の話(25)  
 唐津地域を中心とした記録に残る遺物の発見 上  
 令和五年度 賛助会員のご芳名  
 「唐津」を探して 唐津小笠原藩の菩提寺 龍光寺  
 唐津の近世考古学から(3)ーウマ

濱口 尚美  
 寺沢 光世  
 熊本 典宏  
 山田 洋  
 小島 雅明  
 徳富 則久  
 徳富 則久  
 田島 龍太

## 宮 崎 県

### ◆石の証言 「八紘一字」の塔を考える会

〒880-0026宮崎市波島2-30-2 佐藤文則方 年2000円 1995年創刊

◇115 2024.4 A4 16p \*休刊

「八紘一字」の塔を考える会 会員のみなさんへ

会長 税田啓一郎、他役員一同

新田原基地の教化・米軍基地化 騒音激化、住民に説明なく不安の声

追立 敏弘

日米共同訓練反対集会(2023年12月11日)での海老原司さんのあいさつ

追立 敏弘

新田原基地爆音訴訟の控訴審が結審 8月2日に高裁判決

畏友・野崎真公さんの渾身の労作上梓 「ヒトラー・ナチと現代日本



—麻生副総理の『ナチスの手口…』は失言か— 矢野 勝敏  
続「八紘一宇」は、事典・辞書でどのように説明されているか 土岐 春春  
ドキュメンタリー映画 中村地平

知念正真作『人類館』から「沖繩」を考える(Ⅱ) 「大和人」「大和語」

と「沖繩人」「沖繩語」との境界を切断する言語ゲーム：一望監視

体制下のカオス

杉尾 宏

\*「八紘一宇」の塔を考える会の機関誌『石の証言』は、会活動の休止に伴い、本号をもって休刊となった。創刊は1992年2月で、『もとはしら』としてスタートし、第2号(1992年4月)から『会報』、1992年8月に現誌名に改め、30年の歴史を刻んできた。

同会は、宮崎市平和台公園にある「八紘一宇」の塔に関する研究・調査、学習会、見学会、展示会、研修会等を通じて、塔の史実を掘り起こし、啓蒙と平和活動を続けてきた。平和三原則がないがしろにされ、武器輸出までが閣議決定で解禁されるきな臭い昨今にあって、高齢化による会員の減少と役員の疾病など、やむを得ない事情とはいえ、同会の活動休止は残念である。ただ、休止後も、塔の案内依頼には可能な範囲で応え、『石の証言』の合本作成、塔の礎石一覧のデータベース化、塔案内のDVD作成などには取り組むとのことで、期待したい。

## 沖 縄 県

### ◆宮古郷土史研究会会報

〒906-0013平良市下里1223-8 下地和宏気付 TEL0980-72-9963

年3000円 1977年創刊 <https://kyodoshiken.ti-da.net>

◇262 2024.5 B5 8p

五月定例会レジメ 「四島の主」を考える

下地 和宏

六月定例会報告

資料紹介 宮古島市総合博物館の稲村賢敷発掘資料館について

湯屋 秀捷

三月定例会のまとめ プロビデンス号の航跡と大航海時代

事務局

第四九回定期総会

事務局

令和六年度公開活用事業 企画展「自然災害と文化財」

宮古島市歴史文化資料館

久貝 弥嗣

『宮古島市総合博物館紀要』第二八号の紹介

湯屋 秀捷

宮古島市史資料9 『イマキンシヤの記憶—池間漁師の知識と知恵』

佐藤 宣子

文化財イチ推し 宮古島のパーントゥ

湯屋 秀捷

宮古の三大? 文化遺産

仲宗根將二

トライアスロン宮古島大会 三八回大会を振り返って

長濱 幸男

## 寄贈図書紹介

### ◆東北の禅仏教 黄檗宗大年寺関係史料集

東北文化資料叢書14 近世思想史・宗教史資料

賈光佐編 東北大学大学院文学研究科東北文化研究室 (〒980-8576 仙台市青葉区川内27-1 代表: 木村敏明) 2024年3月 A4 124頁

仙台藩四代伊達綱村によって建立され、黄檗三叢林に数えられる黄檗宗大年寺関係史料に焦点を当てた史料集。口絵／目次／凡例／Ⅰ 論考編 大年寺研究の再展開・黄檗宗研究の新地平(賈光佐)、「根幹」と「枝葉」:『黄檗宗大年寺関係史料集』の意義について(李雪濤著、賈光佐訳)、大年開山鉄牛禪師について(田中智誠)、日本で隠元禪師を探す:仙台の両足山大年禪寺の「黄檗縁」(何燕生著、李詩晴訳、佐々木隼相校正)、仙台と黄檗宗(尾暮まゆみ)、大年寺惣門の構成と建立年代について(張維)／Ⅱ 史料研究編 『黄檗山万福寺伝系・両足山大年寺伝系』(解題・楊慶慶、翻刻・楊慶慶)、『両足山志』(解題・張珺、翻刻・賈光佐、張珺)、『両足山大年禪寺開堂賀章』(解題・吳疆揚、訳・陳曉湛、翻刻・賈光佐)、『鉄牛禪師住奥州両足山大年禪寺語録』(解題・齋藤智寛、翻刻・賈光佐)、『香国禪師住奥州大年寺語録』(解題・林観潮、解題・賈光佐 李詩晴)、『覺天禪師住奥州両足山大年禪寺語録』(解題・賈光佐、翻刻・賈光佐)、『岳峰和尚住大年寺賀偈集 榮僧等登藤君藩邸詩偈附』(解題・張珺、翻刻・賈光佐 張珺)、『山巖禪師住両足山大年禪寺語録』(解題・賈光佐、翻刻・賈光佐)、『湛然元皎禪師住大年禪寺語録』(解題・賈光佐、翻刻・賈光佐)、『大年梅岳禪寺語録』(解題・林観潮、翻刻・林観潮 賈光佐)、『大年大亀禪寺語普説』(解題・陳継東、翻刻・賈光佐)

### ◆茨城県立歴史館史料叢書27 常陸遺文・続常陸遺文

茨城県立歴史館史料学芸部編 茨城県立歴史館 (〒310-0034 茨城県水戸市緑町2-1-15 TEL029-225-4425) 2024年3月 B5 301頁

茨城県立歴史館所蔵史料を中心に紹介する史料叢書第27巻。本書には、江戸時代後期に成立した常陸国の中世史料を多数収めた静嘉堂文庫所蔵「常陸遺文」(中山信名編)十一冊および「続常陸遺文」(色川三中編)九冊を取録する。口絵／解題(山縣創明)／常陸遺文・続常陸遺文所収中世史料一覧／常総遺文(巻ア・カ・サ・タ・ナ・ハ・マ・ヤ・ラ・ワ・ウ)／続常陸遺文(巻一・二・三・四・五・六・七・八・九・十)

### ◆四街道市の歴史 資料編近現代2

四街道市史編さん委員会編 四街道市 (〒284-0003 千葉県四街道市鹿渡2001-10 四街道市役所第二庁舎 四街道市教育委員会教育部社会教育課 市史編さん室 TEL043-424-8934) 2024年3月 A4 262頁

千葉県四街道市史『四街道市の歴史』の最新刊。四街道市(旭村・千代田町)の明

治・大正・昭和時代、特に下志津原演習場などの軍事施設に関する資料294点を収録する。口絵／ごあいさつ(鈴木陽介)／凡例／資料細目次／第一章「軍郷」の発展(第一節 偵察録、第二節 下志津原演習場、第三節 陸軍砲兵射的学校(野戦砲兵学校)、第四節 野戦砲兵聯隊(第十七・第十八・野重第四聯隊)、第五節 下志津陸軍病院、第六節 下志津陸軍飛行学校、第七節 行幸・行啓、第八節 軽便鉄道、第九節 町村の動向、人々の動き)／第二章 戦争の記憶—ふるさと・兵士のことば(第一節 日清戦争、第二節 日露戦争(小山藤右衛門あて、井岡和吉あて、井岡敬三郎あて、野島藤吉あて、新聞)、第三節 第一次世界大戦、第四節 昭和期(林田弘関係、齋藤達次関係 齋藤ハナあて、大野長三あて、日中戦争から太平洋戦争)、第五節 碑文／資料解説／あとがき(須藤元夫)

#### ◆シシマイブック

東京文化財研究所無形文化遺産部／シシマイ学会編 東京文化財研究所(〒110-8713 東京都台東区上野公園13-43) 2024年3月 B5変型 27頁

令和4年4月4日に設立されたシシマイ学会により、数千といわれる全国各地のシシマイから代表的なものを紹介するシシマイガイドブック。シシ史ばなし／シシここ知りたい／全国シシマイコレクション 北海道、東北、関東地方(鹿踊り、三匹獅子舞)、中部地方(中央高地・東海)、中段地方(北陸)(太神楽(大神楽)、御頭神事(三重))、関西地方、中国地方、四国地方、九州地方、沖縄(シーシガナシ(沖縄))、はしご獅子、動物いろいろ／シシ頭／海外のシシマイ／シシ資料／あとがき

#### ◆神保町有情—日本経済評論社私史

栗原哲也著 一葉社(〒114-0024 東京都北区西ヶ原1-46-19-101 TEL03-3949-3492) 2024年3月 四六判 319+13頁 2500円+税

“本の街”神保町で確かな地歩を築いた日本経済評論社—創業以来50年間にわたって社を牽引してきた著者ならではの出版業の深淵を覗かせる稀有な自省録。一 霧中の前途—一九六〇年代／二 渡世を知る—一九七〇年代／三 蹠跡のわだち—一九八〇年代／四 さまざまな邂逅—一九九〇年代／五 新世紀なれど—二〇〇〇年代／六 出版は虚業に非ず—二〇一〇年代と今日あした／謝辞—あとがきにかえて／附 五〇年を支えた方々 日本経済評論社・社員数と出版点数の変遷／人名・社名・店名索引

#### ◆銭湯「稲荷湯」「春日湯」「殿上湯」調査報告書 文化財研究紀要別冊32

東京都北区教育委員会教育振興部飛鳥山博物館事業係編(〒114-0002 東京都北区王子1-1-3 TEL03-3916-1133) 東京都北区教育委員会(〒114-8546 東京都北区滝野川2-52-10 TEL03-3908-9279) 2024年3月 B5 80頁

長年北区内で営業を続けてきた三軒の銭湯、滝野川の「稲荷湯」、上十条の「春日湯」、西ヶ原の「殿上湯」についての建造物調査および聞き取り調査の報告書。

ごあいさつ(坪井宏之)／銭湯調査について(田中葉子)／「稲荷湯」建造物調査報告(一般社団法人せんとうとまち)／「稲荷湯」聞き取り調査報告(糸智子)／「春日湯」建造物調査報告(一般社団法人せんとうとまち)／「春日湯」聞き取り調査報告(田中葉子)／「春日湯」寄贈資料について(田中葉子)／「殿上湯」建造物調査報告(一般社団法人せんとうとまち)／「殿上湯」聞き取り調査報告(田中葉子)／コラム 浴場の開祖とその由来／写真・図面編 「稲荷湯」写真、「春日湯」写真・図面、「殿上湯」写真・図面

#### ◆万葉社会史の研究

藤井一二著 塙書房 (〒113-0033 東京都文京区本郷6-26-12 TEL03-3812-5821)  
2024年5月 A5 333頁 10000円+税

著者の『初期荘園史の研究』(塙書房、1986年)、『東大寺開田図の研究』(塙書房、1997年)に続く第三論集。序一本書の構成／第一部 高志国と万葉風土(第一章 高志国の成立と展開、第二章 国分寺創建と越中国分寺田、第三章 天平時代の国師と国衙、第四章 大伴家持と高志の風土—巡行の旅)／第二部 大伴家持と万葉社会(第一章 大伴家持の国内巡行と出幸、第二章 大伴池主・家持と「深見村」—万葉集と加茂遺跡木簡を中心に、第三章 古代の農事と季節構造—閏月を中心として、第四章 古代村落の農事と歴史的環境—「加茂郡符木簡」の構成と意義)／第三部 唐・渤海王国と天平時代(第一章 中国発見の「和同開珎」銭と国際交流—唐・渤海国遺址出土の歴史的意義、第二章 奈良時代の遣渤海使と能登・加賀、第三章 天平期における加賀郡「津」と遣渤海使—「天平二年」「津司」墨書銘を中心に、第四章 渤海早期王城と古代日本の対渤海交渉)／後章—歩みと執筆

#### ◆民具を継承する 安易な廃棄を防ぐために

第18回無形民俗文化財研究協議会報告書

東京文化財研究所無形文化遺産部編・刊 (〒110-8713 東京都台東区上野公園13-43 TEL03-3823-4927) 2024年3月 A4 148頁

2023年12月8日に東京文化財研究所で開催された第18回無形民俗文化財研究協議会の内容をまとめる。序にかえて(齊藤孝正)／趣旨説明(久保田裕道)／第一部 事例報告 愛ラブ民具—福島県只見町の歩みとこれから(新国勇)、民具の調査と収集—今おかれている現状(外立ますみ)、民具の除籍について—『新鳥取市史 民俗2 民具編』編さんにおける民具調査から未満具廃棄問題へ(樫村賢二)、民具の「緩やかな保存」の提案(川邊咲子)、問題提起 民具を伝え、生かすために—その課題と考え方(今石みぎわ)／第二部 総合討議 コメントテータ：川野和昭・佐野賢治 パネリスト：新国勇・外立ますみ・樫村賢二・川邊咲子 コーディネータ：久保田裕道・今石みぎわ 総合司会：後藤知美／参考資料 アンケート集計結果、参加者名簿

◆文書館のしごと アーキビストと史料保存

新井浩文著 吉川弘文館（〒113-0033 東京都文京区本郷7-2-8 TEL03-3813-9151）2024年4月 四六判 250+23頁 2000円+税

文書館勤務の著者が地域史料の保存・公開などの仕事を解説。現場の視点から今後の展望を掲示する。プロローグー文書館施設って何ですか？（コラム アーカイブズに関する入門書）／Ⅰ 文書館の仕事（一 民間所在資料(古文書)、二 どこへ行く古文書、三 文書館の収蔵史料を用いた授業モデル）／Ⅱ 文書館における史料保存（一 行政文書の劣化状態調査、二 記録の残し方、コラム 地域のアーカイブズ「和戸教会のアーカイブズ」、三 文書館における保存管理）／Ⅲ 文書館と地域社会（一 市町村合併と編さん事業、二 地方文書館の役割と民間アーカイブズ、三 公文書館専門職のこれまで・これから）／エピローグー明日のアーキビストへ

◆あつぎの文化財 獨案内

厚木市文化魅力創造課発行（〒243-8511 神奈川県厚木市中町3-17-17 産業文化スポーツ部 TEL046-225-2509）2004年3月初版 2024年4月改訂2版

厚木市内の文化財140件を地区ごとに紹介するリーフレット。所在地図や文化財巡りモデルコースも収録。相川地区／厚木地区／南毛利地区／玉川地区／依知地区／荻野地区／小鮎地区／睦合地区／あつぎの文化財（1～140）／あつぎの文化財 獨案内／あつぎの文化財を巡るモデルコース／厚木市を通る古道／乗合い駕籠(バス)案内

◆上和田の信法寺所蔵資料ー寺務記録等(近世) 大和市史資料叢書19

大和市役所文化スポーツ部文化振興課市史・文化財係編 大和市（〒242-8601 神奈川県大和市下鶴間1-1-1 TEL046-260-5225）2024年3月 B5 87頁

大和市史編纂事業により収集された資料を紹介する資料叢書第19集。『大和市史資料所在目録稿』（昭和50年3月発行）所収の信法寺所蔵資料(上和田/所蔵者番号39)のうち、No.1・2・3の翻刻を収録する。凡例/解題 上和田の信法寺所蔵資料ー寺務記録等(近世)(大谷慈通)/解題 「信法寺記録」記載の双盤念仏について(坂本要)/資料1 寛政元年～寛政九年 達書・願書等控(芝増上寺役所との関係)/資料2 寛政五年～天保九年 記録(寺務記録)/資料3 天保十二年～元治二年 記録(寺務記録・触書願書等)/用語解説/あとがき

◆高田掬泉日記ー戦争世代の昭和の記録

松島俊樹編集・翻刻 小田原史談会（〒250-0013 神奈川県小田原市南町4-1-24 松島方 TEL090-6938-3796）2024年2月 B5 133頁 1000円+税

小田原市立中央図書館所蔵 高田喜久三(掬泉)資料「ノート・原稿・出版物 No.1 日記」を矢崎佳代子(旧姓高田)氏のご厚意により翻刻。同人とともに俳誌『こよろぎ』を発行・主宰するなど小田原の俳人・文化人として活躍した高田掬

泉(明治44年<1911>～平成10年<1998>)が戦争時代の出来事を書き残した貴重な記録である。序によせて 小田原の文化人 高田掬泉先生(神山務)／高田掬泉(本名喜久三)日記 昭和十一年(1936)、昭和十四年(1939)、昭和十六年(1941)、昭和十七年(1942)、昭和十八年(1943)、昭和二十一年(1946)、昭和二十三年(1948)

◆安曇野の味ごよみ生活ごよみ 安曇野市誌ブックレット2

倉石あつ子著 安曇野市教育委員会 (〒399-8281 長野県安曇野市豊科6000 TEL 0263-71-2000) 2024年3月 A5 92頁

2005年10月1日に3町2村が合併して誕生した安曇野市で進められている新市誌編さんにおける調査・研究の中から、テーマを設けてわかりやすく解説するブックレット第2集。昔ながらの伝統食・行事食も含めた四季折々の安曇野の食文化を紹介する。はじめに 安曇野の食文化／安曇野の春 二月・三月・四月(節分 節を分けるとき、安曇野 生命力みなぎる春の食卓!、ヤシヨ うまかったぞよ!、オハギ、春の香りを楽しむ草餅など、味噌作り)／安曇野の夏 五月・六月・七月(苗代作りの年縞ヤコメ、端午の節供、田植え、筍とサバの味噌汁、六月は梅の季節、かんぴょう挽き)／安曇野の秋 八月・九月・十月(七夕とまんじゅう、盆、かんぴょうとのり巻、秋祭りのご馳走、安曇野は果物天国 おやつ・デザート、野沢菜漬け・たくあん、干し柿)／安曇野の冬 十一月・十二月・一月(豆、年越し準備=餅つき、一年で一番のご馳走!「お年取の日」、元旦はいも汁(とろろ)で!&元旦の食事さまざま、七草、凍り餅、信州のお茶のみ文化 安曇野編)／あとがき

◆折口信夫―「生活の古典」への誘い 伊那民研叢書8

小川直之監修 柳田國男記念伊那民俗学研究所 (〒395-0034 長野県飯田市追手町2-655 飯田市美術博物館内 TEL0265-22-8118) 2024年5月 A5 166頁 1300円 1990年の開設直後に刊行された「伊那民俗ブックス」(『伊那谷の民俗学を拓いた人々』Ⅰ・Ⅱ、1991・1992)をひきついで創刊された「伊那民研叢書」第8輯。長年、國學院大學折口博士記念古代研究所で研究に携わってきた著者が、南信州とも関わり深い折口信夫の民俗学についてまとめる。『伊那民研叢書』発刊の辞／第一章 「生活の古典」の発見と「折口学」／第二章 折口信夫・釋迢空のまなざし／第三章 柳田國男との出会いから『古代研究』へ／第四章 民俗探訪の旅／第五章 折口術語と文化理論／あとがき／編集後記

## ◆後記

能登半島地震から半年が経過した。5月には石川県が『石川県創造的復興プラン —能登が示す、ふるさとの未来(仮称)案』を公開し、ようやく地域社会復興の端緒についた感がある。しかし、生活環境をみれば、まだまだといわざるを得ない。被災建物の解体・撤去は、6月1日のNHKニュースによれば、5月28日現在で石川県内の全半壊建物2万4612棟(公費解体申請1万5614棟)の内、完了は346棟、2%に過ぎない。長く続いていた水道の断水について、各自治体は解消と発表した。だがそれは、公共設備である本管と水道メーターを結ぶ引き込み管までのことで、その先の各家庭の蛇口までの修理は住民の責任になり、工事が追いつかず水の出ない家が少なくない。

一方、歴史資料・文化財の保全は、発災当日に早くも石川県有志による「令和6年能登半島地震被災資料対応WG」が結成され、2月には独立行政法人国立文化財機構文化財防災センターが「令和6年能登半島地震被災文化財等救援事業(文化財レスキュー事業)」と「令和6年能登半島地震被災建造物復旧支援事業(文化財ドクター派遣事業)」を開始した。迅速な取り組みができたのは、2007年の能登半島地震で、能登地域9市町の文化財保護審議委員会が連合して立ち上げた「能登歴史資料保全ネットワーク」の経験が活かされているものと思われる。

『史料ネット News Letter』(神戸大学文学部内 歴史資料ネットワーク)第99号(本誌61頁)の「2024年能登半島地震特集」は、石川県、富山県、新潟県での活動を報告している。それにより改めて気付かされることは、能登半島地震の被災が、能登半島を中心に福井県から新潟県までの北陸地方から、長野県、岐阜県、愛知県、大阪府、兵庫県まで広域に及んでいることである。甚大な被害に苦しむ能登の復旧、復興が急がれることは申すまでもないが、被災地域全体に意識を向け、三陸沖地震を「東日本大震災」と命名したように、能登半島地震も「北陸大震災」のような呼称を用いる時期にきているのではないだろうか。(飯澤)

## 「地方史情報」休止のお知らせ

この度、白鳥舎が活動を停止することになりました。それに伴い、弊誌は本号をもって休止いたします。今後につきましては改めて岩田書院ホームページにてお知らせします。

長年にわたりご支援ご協力くださいました各位に、お礼申し上げますとともに、突然の休止にいたしましたことを、お詫び申し上げます。

地方史情報 168 (最終号) 2024年(令和6年)7月1日 発行

編集・制作 : 白鳥舎 hakucho@eris.ais.ne.jp

ウェブサイト公開: 岩田書院 <http://www.iwata-shoin.co.jp>

〒157-0062 東京都世田谷区南烏山4-25-6-103 TEL03-3326-3757

\*本誌は、140号より、PDF版のみの発行です。